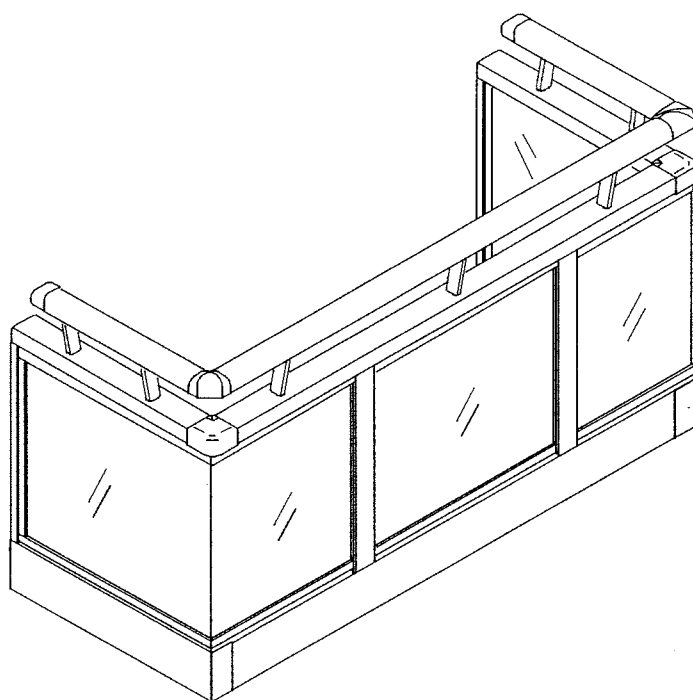


本体取付説明書

※この取付説明書は施工完了後、お施主様へお渡しください。



目次

	ページ
■ 販売店・工事店様へのお願い	1
■ 梱包明細書	2～7
■ 基本寸法図	8～9
■ 参考基本納まり図	10～13
■ 構成図	14～15
■ 本体の組立・取付け順序一覧	16～17
● 根太掛け・妻バリの取付け	18～19
● 前桁・根太の取付け	20～21
● デッキ材・壁付け柱・桁上柱の取付け	22～23
● 下笠木の組立て・連結用桁上柱の取付け	24
● 笠木の取付け・組立て	25～26
● パネルの取付け	27～38
■ 雨樋の取付け	39
■ 化粧鋳物（別売品）の取付け	40
■ 使用上のご注意とお願い・メンテナンスについて	41～42

販売店・工事店様へのお願い

● 安全上のご注意

必ずお守りください

本書で使われているマークには以下のような意味があります。

絵 表 示	意 味
 注意	取扱を誤った場合に、使用者が重傷を負う危険性及び物的損害の発生が想定されることを示します。
お 願 い	特定の行為の義務付けを示します。

注意

- 商品に貼付されている注意・取扱説明のラベル等をはがさないでください。
- 建物の屋根に積もった雪が落ちない位置に取付けてください。やむを得ない場合は、建物の屋根に雪止めを取付けてください。
- シーリング指定箇所は、必ずシーリング処理をしてください。特に部材接合部は念入りにシーリング処理を行ってください。シーリング処理が十分に行われていない場合、雨漏れの原因となりますので注意してください。
- 施工の際、躯体へのコーチスクリューや木ビスは、たたき込まずに確実にねじ込んでください。また、プラグ類をモルタルやサイディング等、部分のみで固定することも大変危険ですので絶対にやめてください。
- 妻バリや妻笠木をサッシ戸袋等に直接取付けることは、強度上大変危険です。必ず戸袋調整武材を使用してください。
- 積雪地域での施工は避けてください。
- 踏み台になるような物の上に乗ると落下の危険が生じます。特にお子様には注意してください。

お 願 い

- 施工を始めてから手直しが出ないよう、事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください特に設計者や工務店様と取付スペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- 製品の運搬や取付けの際は、キズをつけないように気をつけてください。また、他の工事が終了後、養生テープをはがしてください。
- 建物に取付ける部材・部品は、建物の柱・間柱・胴差し等に確実に固定してください。
- 水平・垂直・直角は、必ず正確に出してください。正確に出ていない場合、取り付けられない場合があります。また、十分な強度が出ない場合もあり大変危険です注意してください。
- 取付けの際、ボルト・ネジ等は規定本数を確実に締め付け固定してください。建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。

● アルミ製品を他建材製品と施工する上でのご注意

新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐蝕をおこし、思わぬトラブルとなりますので施工にあたっては次のような点をご注意ください。

- アルミ製品と **銅板やラス等** の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニルテープ等を貼るか塗装等で絶縁処理を行ってください。
- **輸入木材** には、塩素イオン等の腐蝕成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくかアルミニウムと接触する部分は木材に塗装するようにしてください。
- モルタル用に **海砂** を使用されますと、多量に含まれた塩分が腐蝕の原因となりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- モルタルやコンクリートの **抽出液** が工事中にアルミ製品の表面に流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性であるため、しみやムラ等の外観不良や腐蝕の原因となります。
- モルタルやコンクリートの **凝結材** は腐蝕の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- 施工時にアルミ製品の表面に **付着** したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐蝕しやすくなりますので取扱いに十分注意してください。
- 腐蝕の恐れのある **接着材や科学薬品** を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

製品名称		製品記号	梱包内容	
横材	関東間	1 間	○ KBW10	前桁 L=1767①, 根太掛け L=1767① 笠木カバー L=1813①, 上笠木 L=1813① 下笠木 L=1767①, 束柱 ③ (セット部品 SE-1064-01) ・φ8x75コーチスクリュー ③・M8 ワッシャー ③ ・φ4x25ナベ2種ガイド付 ⑥・φ4x50ナベ2種ガイド付 ⑥ ・水抜き孔キャップ①・落しロパッキン①・M4x12トラスビス ②
		1.5 間	○ KBW15	前桁 L=2676①, 根太掛け L=2676① 笠木カバー L=2722①, 上笠木 L=2722① 下笠木 L=2676①, 束柱 ④ (セット部品 SE-1064-02) ・φ8x75コーチスクリュー ④・M8 ワッシャー ④ ・φ4x25ナベ2種ガイド付 ⑧・φ4x50ナベ2種ガイド付 ⑧ ・水抜き孔キャップ①・落しロパッキン①・M4x12トラスビス ②
		2 間	○ KBW20	前桁 L=3585①, 根太掛け L=3585① 笠木カバー L=3631①, 上笠木 L=3631① 下笠木 L=3585①, 束柱 ⑤ (セット部品 SE-1064-03) ・φ8x75コーチスクリュー ⑤・M8 ワッシャー ⑤ ・φ4x25ナベ2種ガイド付 ⑩・φ4x50ナベ2種ガイド付 ⑩ ・水抜き孔キャップ①・落しロパッキン①・M4x12トラスビス ②
	関西間	1 間	○ KBW10W	前桁 L=1963①, 根太掛け L=1963① 笠木カバー L=2009①, 上笠木 L=2009① 下笠木 L=1963①, 束柱 ③ (セット部品 SE-1064-01) ・φ8x75コーチスクリュー ③・M8 ワッシャー ③ ・φ4x25ナベ2種ガイド付 ⑥・φ4x50ナベ2種ガイド付 ⑥ ・水抜き孔キャップ①・落しロパッキン①・M4x12トラスビス ②
		1.5 間	○ KBW15W	前桁 L=2917①, 根太掛け L=2917① 笠木カバー L=2963①, 上笠木 L=2963① 下笠木 L=2917①, 束柱 ④ (セット部品 SE-1064-02) ・φ8x75コーチスクリュー ④・M8 ワッシャー ④ ・φ4x25ナベ2種ガイド付 ⑧・φ4x50ナベ2種ガイド付 ⑧ ・水抜き孔キャップ①・落しロパッキン①・M4x12トラスビス ②
		2 間	○ KBW20W	前桁 L=3872①, 根太掛け L=3872① 笠木カバー L=3918①, 上笠木 L=3918① 下笠木 L=3872①, 束柱 ⑤ (セット部品 SE-1064-03) ・φ8x75コーチスクリュー ⑤・M8 ワッシャー ⑤ ・φ4x25ナベ2種ガイド付 ⑩・φ4x50ナベ2種ガイド付 ⑩ ・水抜き孔キャップ①・落しロパッキン①・M4x12トラスビス ②
奥行材	左用	2 尺	○ KBWT2L	(セット部品 SE-1065-01) ・笠木エンドキャップ① ・M4x12トラス3種 ② ・φ8x75コーチスクリュー ② ・六角ボルト M8x16 ⑥ ・M8 ナット ① ・M8 ワッシャー ⑤ ・長孔ワッシャー ④ ・M4x25ナベ2種ガイド付 ④ ・M4x50ナベ2種ガイド付 ④ ・φ4x13 皿テクスビス ③
		3 尺	○ KBWT3L	
	右用	2 尺	○ KBWT2R	
		3 尺	○ KBWT3R	
連結	連結バリ	2 尺	○ KBWRN2	(セット部品 SE-1065-02) ・六角ボルト M8x16 ⑥ ・M8 ナット ② ・M8 ワッシャー ⑥ ・φ4x13 皿テクスビス ⑥ ・長孔ワッシャー ②
		3 尺	○ KBWRN3	
	連結用鋳物フレーム		○ KBWRF	連結用鋳物フレーム ①

製品名称		製品記号		梱包内容	
根太	関東間	1間	2R	○ KBWN102	根太 L=577 3本 (セット部品 SE-1066-01) ・φ4x13ナベテクスビス ⑩ ・六角ボルト M8x16 ⑥ ・M8 ワッシャー ⑨ ・M8 六角ナット ③
			3R	○ KBWN103	根太 L=837 3本 (セット部品 SE-1066-02) ・φ4x13ナベテクスビス ⑮ ・六角ボルト M8x16 ⑥ ・M8 ワッシャー ⑨ ・M8 六角ナット ③
		1.5間	2R	○ KBWN152	根太 L=577 5本 (セット部品 SE-1066-03) ・φ4x13ナベテクスビス ⑭ ・六角ボルト M8x16 ⑩ ・M8 ワッシャー ⑮ ・M8 六角ナット ⑤
			3R	○ KBWN153	根太 L=837 5本 (セット部品 SE-1066-04) ・φ4x13ナベテクスビス ⑰ ・六角ボルト M8x16 ⑩ ・M8 ワッシャー ⑮ ・M8 六角ナット ⑤
		2間	2R	○ KBWN202	根太 L=577 7本 (セット部品 SE-1066-05) ・φ4x13ナベテクスビス ⑱ ・六角ボルト M8x16 ⑭ ・M8 ワッシャー ⑰ ・M8 六角ナット ⑦
			3R	○ KBWN203	根太 L=837 7本 (セット部品 SE-1066-06) ・φ4x13ナベテクスビス ⑳ ・六角ボルト M8x16 ⑭ ・M8 ワッシャー ⑰ ・M8 六角ナット ⑦
	関西間	1間	2R	○ KBWN102W	根太 L=577 4本 (セット部品 SE-1066-07) ・φ4x13ナベテクスビス ⑫ ・六角ボルト M8x16 ⑧ ・M8 ワッシャー ⑫ ・M8 六角ナット ④
			3R	○ KBWN103W	根太 L=837 4本 (セット部品 SE-1066-08) ・φ4x13ナベテクスビス ⑱ ・六角ボルト M8x16 ⑧ ・M8 ワッシャー ⑫ ・M8 六角ナット ④
		1.5間	2R	○ KBWN152W	根太 L=577 6本 (セット部品 SE-1066-09) ・φ4x13ナベテクスビス ⑯ ・六角ボルト M8x16 ⑫ ・M8 ワッシャー ⑱ ・M8 六角ナット ⑥
			3R	○ KBWN153W	根太 L=837 6本 (セット部品 SE-1066-10) ・φ4x13ナベテクスビス ㉒ ・六角ボルト M8x16 ⑫ ・M8 ワッシャー ⑱ ・M8 六角ナット ⑥
		2間	2R	○ KBWN202W	根太 L=577 8本 (セット部品 SE-1066-11) ・φ4x13ナベテクスビス ㉑ ・六角ボルト M8x16 ⑯ ・M8 ワッシャー ㉒ ・M8 六角ナット ⑧
			3R	○ KBWN203W	根太 L=837 8本 (セット部品 SE-1066-12) ・φ4x13ナベテクスビス ㉓ ・六角ボルト M8x16 ⑯ ・M8 ワッシャー ㉒ ・M8 六角ナット ⑧
桁上柱	連結用		○ KBWRP		連結用桁上柱 ①
	面材用	○ KBWP1A		パネル用柱 L=898 ①, パネル押さえ材 L=897 ①	(セット部品 SE-1063-01) ・柱固定ブラット②・M5x12トラス3種 ⑪
		○ KBWP2A		パネル用柱 L=898 ②, パネル押さえ材 L=897 ②	(セット部品 SE-1063-02) ・柱固定ブラット④・M5x12トラス3種 ㉒
		○ KBWP3A		パネル用柱 L=898 ③, パネル押さえ材 L=897 ③	(セット部品 SE-1063-03) ・柱固定ブラット⑥・M5x12トラス3種 ㉓
	縦格子用	○ KBWP1T		縦格子用柱 L=898 ①	(セット部品 SE-1063-06) ・柱固定ブラット②・M5x12トラス3種 ⑫
		○ KBWP2T		縦格子用柱 L=898 ②	(セット部品 SE-1063-04) ・柱固定ブラット④・M5x12トラス3種 ㉒
格子+面材用		○ KBWP2Z		格子+面材用桁上柱 L=898 ② 格子+面材用押さえ材 L=897 ②	(セット部品 SE-1063-05) ・柱固定ブラット④・M5x12トラス3種 ㉒
部品箱	標準部品箱		○ KBWBOX		上笠木コーナーギボシ ②, 下笠木コーナーギボシ ②, 前桁ブラケット ②, 梁キャップ ② 六角ボルト M8x16 ⑭, M8 六角ナット ④, M8 ワッシャー ⑱ M5x16皿ビス 3種 ⑧, φ4x16皿ビス3種 ④ コーキング70g ①, 本体取付説明書 ①
	連結部品箱		○ KBWRBOX		上笠木連結ブラケット ①, 前桁ブラケット ②, 梁キャップ ① 六角ボルト M8x16 ⑫, M8 六角ナット ②, M8 ワッシャー ㉑ M5x16皿ビス3種 ④, φ4x16皿ビス3種 ②, φ8x90コーチスクリュー ⑥ M5x25トラス3種 ⑩, φ4x25ナベテクスビス ②
	壁直付け部品箱		○ KBWJB		上笠木コーナーギボシ ①, 下笠木コーナーギボシ ①, 前桁ブラケット ①, 梁キャップ ① 六角ボルト M8x16 ⑦, M8 六角ナット ②, M8 ワッシャー ⑨ M5x16皿ビス 3種 ②, φ4x16皿ビス3種 ② コーキング70g ①, 本体取付説明書 ①

製品名称				製品記号	梱包内容			
先付金具	単体用	左用	AKBWSL	先付金具本体(左用)① ・ $\phi 8 \times 90$ コーチスクリュー⑥ ・ M8x150 通しボルト① ・ M8 ワッシャー⑦ ・ M8 ナット付き角座金① ・ $\phi 4.1 \times 32$ 丸木ねじ② ・ 防水シート① ・ 先付金具補強プレート① ・ 先付金具目地パッキン② ・ 先付金具止水パッキン① ・ コーキング70g① ・ 先付金具取付説明書①				
		右用	AKBWSR	先付金具本体(右用)① ・ $\phi 8 \times 90$ コーチスクリュー⑥ ・ M8x150 通しボルト① ・ M8 ワッシャー⑦ ・ M8 ナット付き角座金① ・ $\phi 4.1 \times 32$ 丸木ねじ② ・ 防水シート① ・ 先付金具補強プレート① ・ 先付金具目地パッキン② ・ 先付金具止水パッキン① ・ コーキング70g① ・ 先付金具取付説明書①				
	連結用	間柱用	AKBWRS	連結用先付金具本体① ・ $\phi 8 \times 90$ コーチスクリュー④ ・ M8x150 通しボルト② ・ M8 ワッシャー⑥ ・ M8 ナット付き角座金② ・ $\phi 4.1 \times 32$ 丸木ねじ④ ・ 防水シート① ・ 先付金具目地パッキン② ・ 先付金具止水パッキン① ・ 先付金具取付説明書①				
デッキ材	関東間	1 間	2 尺	APDV102	デッキ材(200巾①・300巾①) L=1738	横雨樋 L=1729①	(セット部品 SE-1068-01) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベテクス⑤	
			3 尺	APDV103	デッキ材(200巾①・300巾②) L=1738			
		1.5 間	2 尺	APDV152	デッキ材(200巾①・300巾①) L=2647	横雨樋 L=2638①	(セット部品 SE-1068-02) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベテクス⑦	
			3 尺	APDV153	デッキ材(200巾①・300巾②) L=2647			
		2 間	2 尺	APDV202	デッキ材(200巾①・300巾①) L=3556	横雨樋 L=3547①	(セット部品 SE-1068-03) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベテクス⑨	
			3 尺	APDV203	デッキ材(200巾①・300巾②) L=3556			
	関西間	1 間	2 尺	APDV102W	デッキ材(200巾①・300巾①) L=1934	横雨樋 L=1925①	(セット部品 SE-1068-04) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベテクス⑥	
			3 尺	APDV103W	デッキ材(200巾①・300巾②) L=1934			
		1.5 間	2 尺	APDV152W	デッキ材(200巾①・300巾①) L=2888	横雨樋 L=2879①	(セット部品 SE-1068-05) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベテクス⑧	
			3 尺	APDV153W	デッキ材(200巾①・300巾②) L=2888			
		2 間	2 尺	APDV202W	デッキ材(200巾①・300巾①) L=3843	横雨樋 L=3834①	(セット部品 SE-1068-06) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベテクス⑩	
			3 尺	APDV203W	デッキ材(200巾①・300巾②) L=3843			

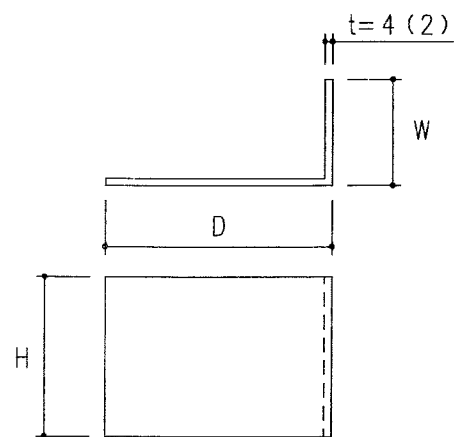
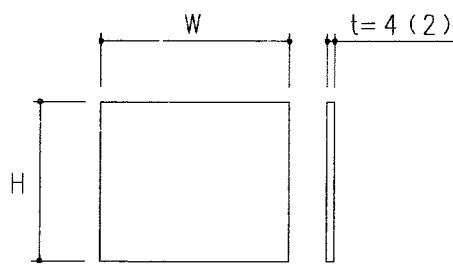
■ 梱包明細書 (専用別売品)

製品名称			製品記号	梱包内容		
化粧鋳物	左用		○ KBWFL	化粧鋳物フレーム①	(セット部品 SE-1065-02) ・ $\phi 8 \times 75$ コーチスクリュー③ ・ $\phi 4 \times 19$ テクスビス③	
	右用		○ KBWFR	化粧鋳物フレーム①		
戸袋調整部材	左用		○ KBWTBL	戸袋調整柱(左) L=2500① 戸袋調整横材(左) L=214.5① 戸袋調整格子 L=2482①	(セット部品 SE-1068-01) ・ 調整ブラケット(下端部)① ・ 調整格子上下ブラケット② ・ 笠木ジョイント① ・ 調整ブラケット(柱側)① ・ 調整ブラケット(壁側)① ・ 戸袋調整柱カバー① ・ $\phi 8 \times 75$ コーチスクリュー② ・ 六角ボルト M8x16⑧ ・ M8 ワッシャー⑩ ・ M5x16 トラス3種② ・ M5x12 トラス3種⑭ ・ M4x20 ナベ2種ガイド付④ ・ M4x16 トラス3種② ・ 戸袋調整取付説明書①	
	右用		○ KBWTBR	戸袋調整柱(右) L=2500① 戸袋調整横材(右) L=214.5① 戸袋調整格子 L=2482①		
壁直付け部材	左用	2 尺	○ KBWJ2L	壁直付け用雨樋(左) L=578①	(セット部品 SE-1145-01, -02) ・ 壁直付け用桁ブラケット① ・ 笠木壁直付けブラケット① ・ 桁小口キャップ① ・ 手摺端部キャップ① ・ 下笠木小口キャップ① ・ 六角ボルト M8x20① ・ $\phi 8 \times 75$ コーチベクリュー④ ・ $\phi 6 \times 70$ コーチベクリュー① ・ 六角ボルト M8x16② ・ M8 ワッシャー⑨ ・ 六角ナット M8① ・ 六角ボルト M6x16② ・ M6 ワッシャー③ $\phi 4 \times 12$ ナベ2種① ・ $\phi 4 \times 12$ 皿2種②	
		3 尺	○ KBWJ3L	壁直付け用雨樋(左) L=838①		
	右用	2 尺	○ KBWJ2R	壁直付け用雨樋(右) L=578①		
		3 尺	○ KBWJ3R	壁直付け用雨樋(右) L=838①		

製品名称		製品記号	梱包内容	
縦 格 子 パ ネ ル	前面パネル	開 東 間・ 開 西 間	1間	○KBWM10T パネル上下胴縁 L=873 ② 縦格子 L=887 ⑥ (セット部品 SE-1067-04)・φ4x13ナベテクスビス ④
			1.5間	○KBWM15T パネル上下胴縁 L=1782 ② 縦格子 L=887 ⑬ (セット部品 SE-1067-05)・φ4x13ナベテクスビス ⑥
			2間	○KBWM20T パネル上下胴縁 L=1345.5 ④ 縦格子 L=887 ⑫ (セット部品 SE-1067-06)・φ4x13ナベテクスビス ⑫
		開 西 間	2.5間	○KBWM25TW パネル上下胴縁 L=1091.5 ② 縦格子 L=887 ⑧ (セット部品 SE-1067-04)・φ4x13ナベテクスビス ④
			3間	○KBWM30TW パネル上下胴縁 L=1114 ② 縦格子 L=887 ⑧ (セット部品 SE-1067-04)・φ4x13ナベテクスビス ④
			3.5間	○KBWM35TW パネル上下胴縁 L=1137 ② 縦格子 L=887 ⑧ (セット部品 SE-1067-04)・φ4x13ナベテクスビス ④
			4間	○KBWM40TW パネル上下胴縁 L=1160 ② 縦格子 L=887 ⑧ (セット部品 SE-1067-04)・φ4x13ナベテクスビス ④
	コーナーパネル	開 東 間	2 尺	○KBWK2T 胴縁(前面側) L=424 ② 縦格子 L=887 ⑦ 縦格子上下胴縁 L=621 ② (セット部品 SE-1067-07) ・φ4x13ナベテクスビス ⑧ ・孔塞ぎキャップ ②
			3 尺	○KBWK3T 胴縁(前面側) L=424 ② 縦格子 L=887 ⑨ 縦格子上下胴縁 L=881 ② (セット部品 SE-1067-07) ・φ4x13ナベテクスビス ⑧ ・孔塞ぎキャップ ②
		開 西 間	1 間	○KBWK102TW 胴縁(前面側) L=522 ② 縦格子 L=887 ⑧ 縦格子上下胴縁 L=621 ② (セット部品 SE-1067-07) ・φ4x13ナベテクスビス ⑧ ・孔塞ぎキャップ ②
				○KBWK103TW 胴縁(前面側) L=522 ② 縦格子 L=887 ⑩ 縦格子上下胴縁 L=881 ② (セット部品 SE-1067-07) ・φ4x13ナベテクスビス ⑧ ・孔塞ぎキャップ ②
			1.5 間	○KBWK152TW 胴縁(前面側) L=544.5 ② 縦格子 L=887 ⑧ 縦格子上下胴縁 L=621 ② (セット部品 SE-1067-07) ・φ4x13ナベテクスビス ⑧ ・孔塞ぎキャップ ②
				○KBWK153TW 胴縁(前面側) L=544.5 ② 縦格子 L=887 ⑩ 縦格子上下胴縁 L=881 ② (セット部品 SE-1067-07) ・φ4x13ナベテクスビス ⑧ ・孔塞ぎキャップ ②
			2 間	○KBWK202TW 胴縁(前面側) L=567.5 ② 縦格子 L=887 ⑧ 縦格子上下胴縁 L=621 ② (セット部品 SE-1067-07) ・φ4x13ナベテクスビス ⑧ ・孔塞ぎキャップ ②
				○KBWK203TW 胴縁(前面側) L=567.5 ② 縦格子 L=887 ⑩ 縦格子上下胴縁 L=881 ② (セット部品 SE-1067-07) ・φ4x13ナベテクスビス ⑧ ・孔塞ぎキャップ ②

製品名称		製品記号	梱包内容	
前面パネル	開東間・開西間	1枚入	○ KBWM1A	パネル上下枠 L=851 ② (セット部品 SE-1067-01)・φ4x16ナベテクスビス ④
		2枚入	○ KBWM2A	パネル上下枠 L=851 ④ (セット部品 SE-1067-02)・φ4x16ナベテクスビス ⑧
		2.5間	○ KBWM25AW	パネル上下枠 L=1069.5 ② (セット部品 SE-1067-01)・φ4x16ナベテクスビス ④
		3間	○ KBWM30TW	パネル上下枠 L=1092 ② (セット部品 SE-1067-01)・φ4x16ナベテクスビス ④
		3.5間	○ KBWM35AW	パネル上下枠 L=1115 ② (セット部品 SE-1067-01)・φ4x16ナベテクスビス ④
		4間	○ KBWM40AW	パネル上下枠 L=1138 ② (セット部品 SE-1067-01)・φ4x16ナベテクスビス ④
	開東間	2 尺	○ KBWK2A	パネル上下枠(前面側) L=463 ②, パネル縦枠 L=897 ① パネル上下枠(側面側) L=617.5 ② (セット部品 SE-1067-03)・φ4x16ナベテクスビス ⑩
		3 尺	○ KBWK3A	パネル上下枠(前面側) L=463 ②, パネル縦枠 L=897 ① パネル上下枠(側面側) L=877.5 ② (セット部品 SE-1067-03)・φ4x16ナベテクスビス ⑩
		1 2 尺	○ KBWK102AW	パネル上下枠(前面側) L=561 ②, パネル縦枠 L=897 ① パネル上下枠(側面側) L=617.5 ② (セット部品 SE-1067-03)・φ4x16ナベテクスビス ⑩
		1 3 尺	○ KBWK103AW	パネル上下枠(前面側) L=561 ②, パネル縦枠 L=897 ① パネル上下枠(側面側) L=877.5 ② (セット部品 SE-1067-03)・φ4x16ナベテクスビス ⑩
		1.5 2 尺	○ KBWK152AW	パネル上下枠(前面側) L=583.5 ②, パネル縦枠 L=897 ① パネル上下枠(側面側) L=617.5 ② (セット部品 SE-1067-03)・φ4x16ナベテクスビス ⑩
		1.5 3 尺	○ KBWK153AW	パネル上下枠(前面側) L=583.5 ②, パネル縦枠 L=897 ① パネル上下枠(側面側) L=877.5 ② (セット部品 SE-1067-03)・φ4x16ナベテクスビス ⑩
		2 2 尺	○ KBWK202AW	パネル上下枠(前面側) L=606.5 ②, パネル縦枠 L=897 ① パネル上下枠(側面側) L=617.5 ② (セット部品 SE-1067-03)・φ4x16ナベテクスビス ⑩
		2 3 尺	○ KBWK203AW	パネル上下枠(前面側) L=606.5 ②, パネル縦枠 L=897 ① パネル上下枠(側面側) L=877.5 ② (セット部品 SE-1067-03)・φ4x16ナベテクスビス ⑩
パンチングパネル	前面パネル	1枚入	○ KBWM1P	パネル上下枠 L=851 ② (セット部品 SE-1067-01)・φ4x16ナベテクスビス ④
		2枚入	○ KBWM2P	パネル上下枠 L=851 ④ (セット部品 SE-1067-02)・φ4x16ナベテクスビス ⑧
	コーナーパネル	2 尺	○ KBWK2P	パネル上下枠(前面側) L=463 ②, パネル縦枠 L=897 ① パネル上下枠(側面側) L=617.5 ② (セット部品 SE-1067-03)・φ4x16ナベテクスビス ⑩
		3 尺	○ KBWK3P	パネル上下枠(前面側) L=463 ②, パネル縦枠 L=897 ① パネル上下枠(側面側) L=877.5 ② (セット部品 SE-1067-03)・φ4x16ナベテクスビス ⑩

面材寸法



() 内は、パンチングパネルの場合の厚さです。

・ 前面用・連結部面材の寸法

面材種類	W	H
関東間・関西間 前面用	871	866
関西間 2.5 間用連結パネル	1090	
関西間 3.0 間用連結パネル	1112	
関西間 3.5 間用連結パネル	1135	
関西間 4.0 間用連結パネル	1158	

・ コーナー面材の寸法

面材種類		W	D	H
関東間	1 ~ 2 間用	2 R	461	597
		3 R	461	857
関西間	1.0 間用	2 R	559	597
		3 R	559	857
	1.5 間用	2 R	582	597
		3 R	582	857
	2.0 間用	2 R	605	597
		3 R	605	857

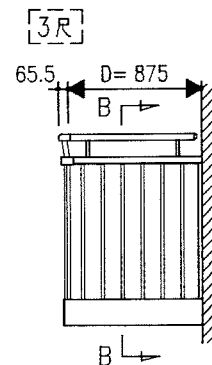
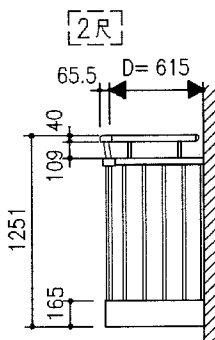
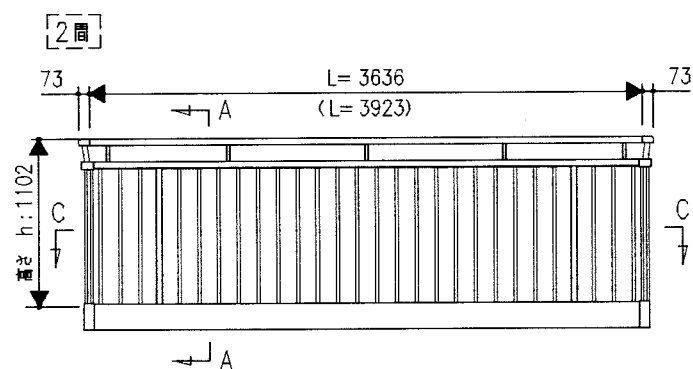
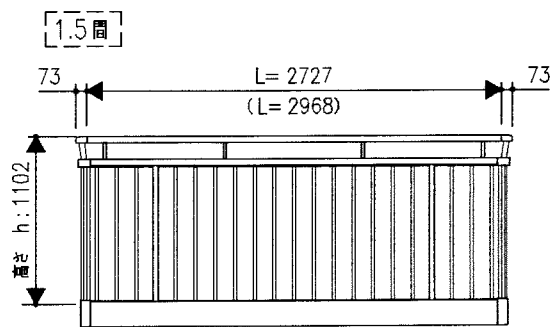
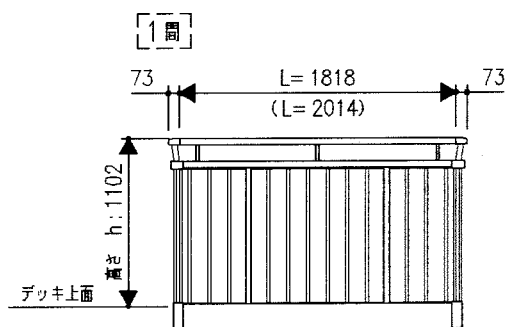
梱包明細書

製品名称	製品記号	梱包内容
サイディングパネル	前面パネル 1枚入 ○ KBWM1B	前面用上下枠 L=873 ② 中間柱 L=882 ① (セット部品 SE-1067-08) ・サイディングパネル枠連結カバー ④・φ4x16ナベテクスビス ④ ・φ4x13皿テクスビス ④・φ4x10トラス3種 ②
	コーナーパネル 2尺	コーナー用上下枠前面用 L=504 ②, コーナー用上下枠側面用 L=652 ② コーナー用柱 L=882 ①, 中間柱 L=882 ① 端部柱 L=882 ①, パネル見切り材 L=953 ① (セット部品 SE-1067-09) ・安全コーナーキャップ ② ・サイディング用梁キャップ ① ・φ4x16ナベテクスビス ⑧ ・φ4x13皿テクスビス ⑥ ・φ4x10トラス3種 ⑩ ・φ4x20トラス3種 ② ・φ4x12ナベ2種 ②
	コーナーパネル 3尺	コーナー用上下枠前面用 L=504 ②, コーナー用上下枠側面用 L=912 ② コーナー用柱 L=882 ①, 中間柱 L=882 ① 端部柱 L=882 ①, パネル見切り材 L=953 ①
	端部柱セット ○ KBWHAB	端部柱 L=882 ② (セット部品 SE-1240-01)・φ4x20ナベ2種 ④
	見切り材セット ○ KBWMKB	端部柱 L=935 ② (セット部品 SE-1241-01)・φ4x20ナベ2種 ④
化粧パネル	前面用	AKBWM1U アルミ複合パネル 900 X 875 ①
	コーナー用 2尺	AKBWK2U アルミ複合パネル 485 X 875 ① 620 X 875 ①
	コーナー用 3尺	AKBWK3U アルミ複合パネル 485 X 875 ① 880 X 875 ①

雨樋部品梱包明細書

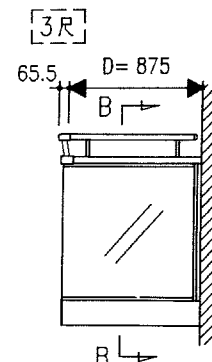
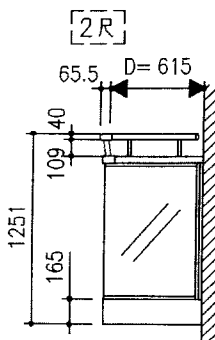
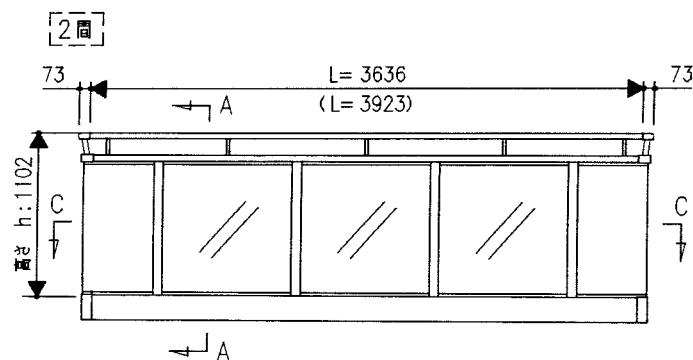
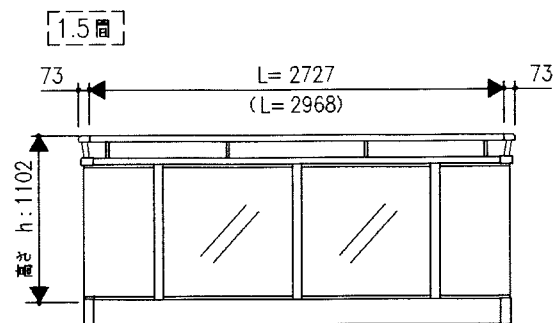
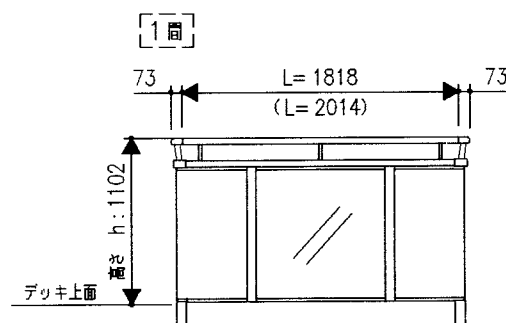
製品名称	製品記号	梱包内容
雨樋	縦樋	○ JAAT27 ・縦樋 L=2700 ①
		○ JAAT30 ・縦樋 L=3000 ①
		○ JAAT35 ・縦樋 L=3500 ①
	雨樋部品箱	○ JAABOX3 ・落し口パッキン ① ・落し口 ① ・φ4x16 ナベテクスビス ⑥ ・ジャバラホース (500mm) ① ・ジャバラカバー ① ・固定バンド (A) ④ ・固定バンド (B) ④ ・85° エルボ ① ・縦樋ソケット ① ・φ4.1x45 木ビス ④ ・接着材 ① ・雨樋部品取付説明書 ①
	雨樋部品箱	○ JAABOX11 ・85° エルボ ⑩
		○ JAABOX12 ・固定バンド (A) ⑩ ・固定バンド (B) ⑩ ・φ4x16 ナベテクスビス ③ ・φ4.1x45 木ビス ④ ・縦樋ソケット ③

縦
格子

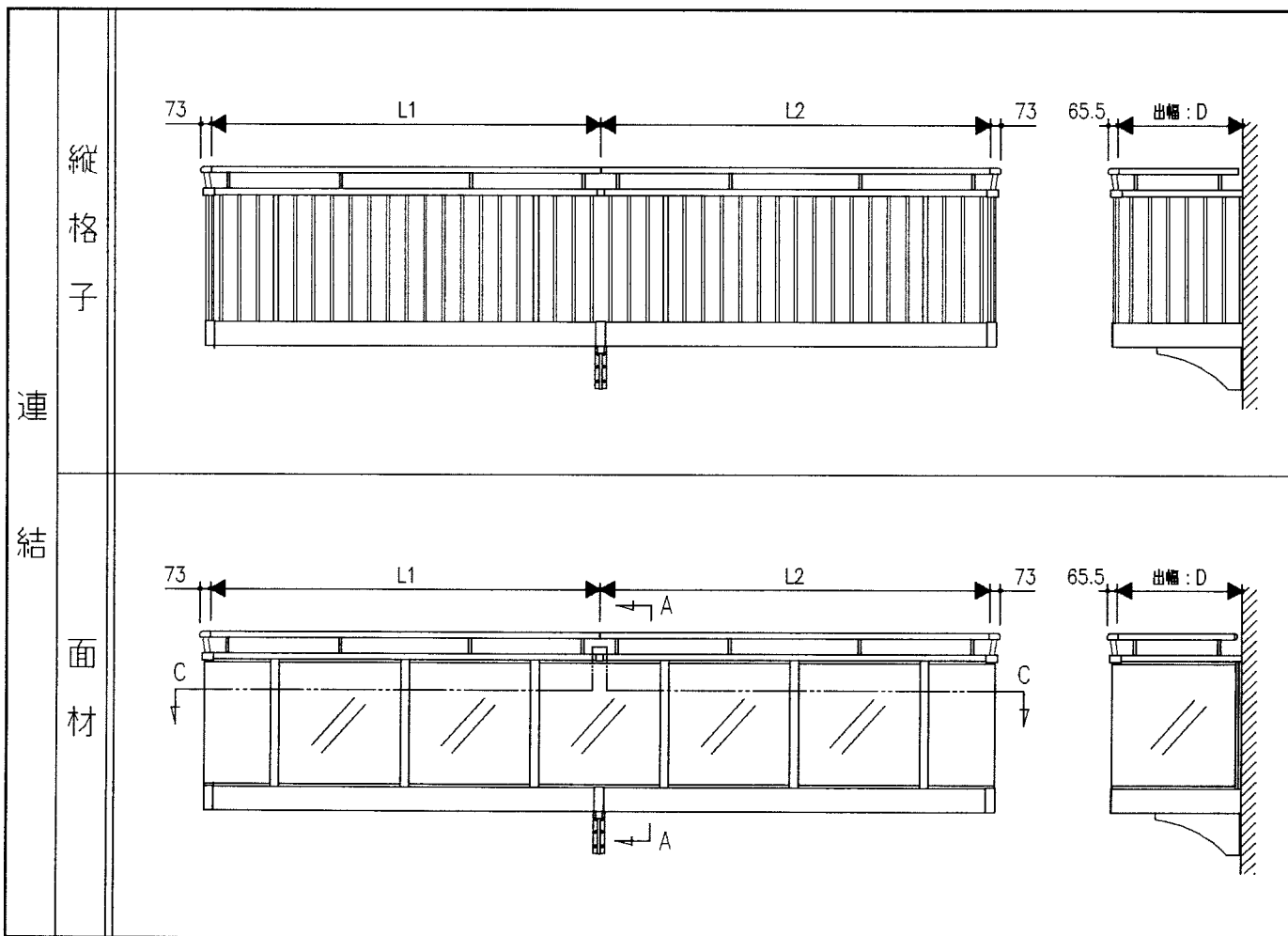


単

体



面
材

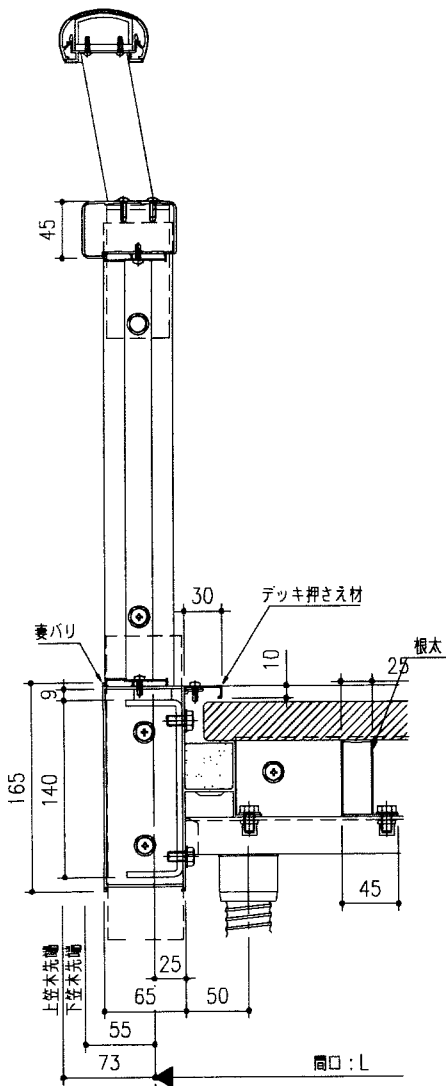


間 別	閑 東 間			閑 西 間		
間口 (L1・L2)	1 間	1.5 間	2 間	1 間	1.5 間	2 間
L 寸法	1,818	2,727	3,636	2,014	2,968	3,923

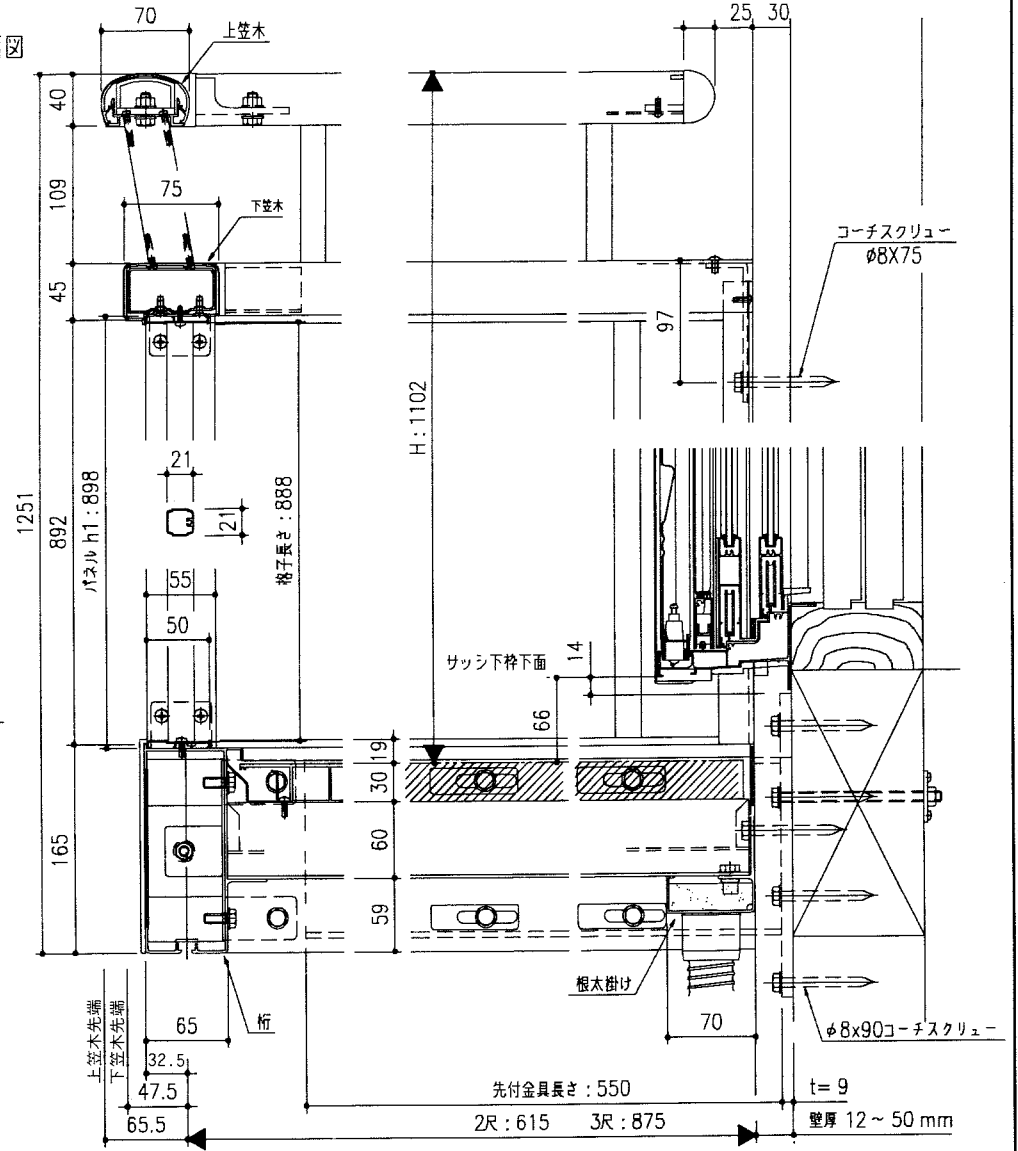
単位 mm		
出巾 (D)	2 尺	3 尺
D 寸法	615	875

● 縦格子

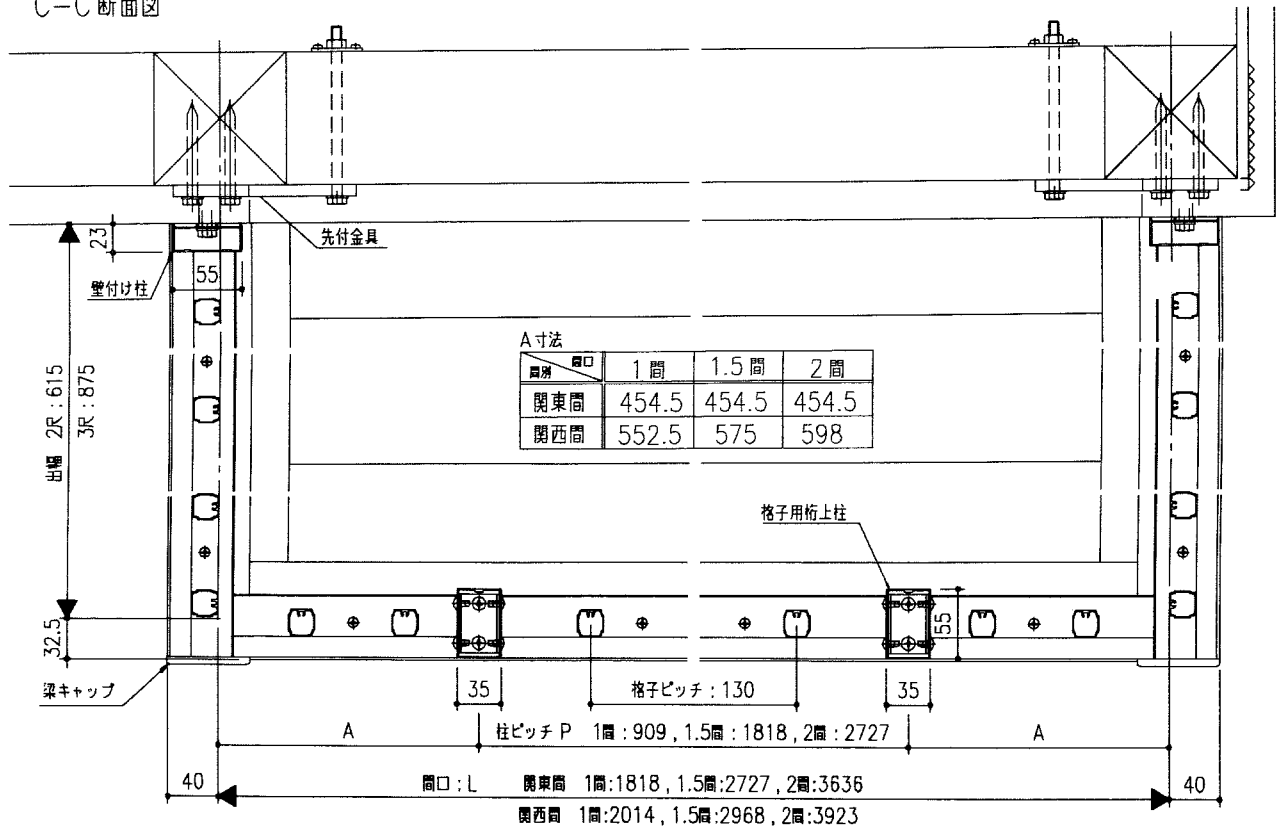
B-B断面図



A-A断面図



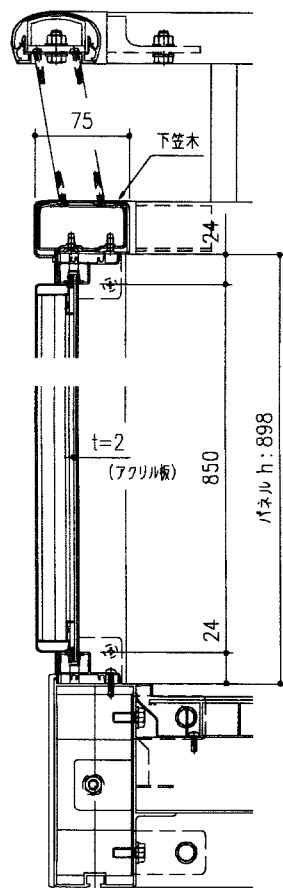
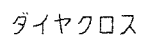
C-C断面図



A寸法

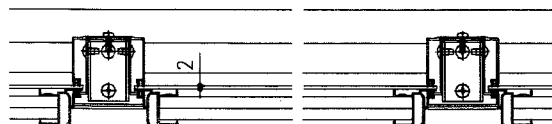
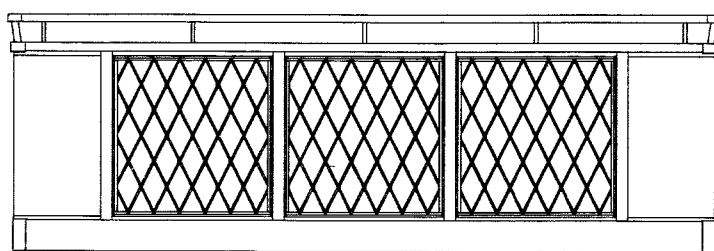
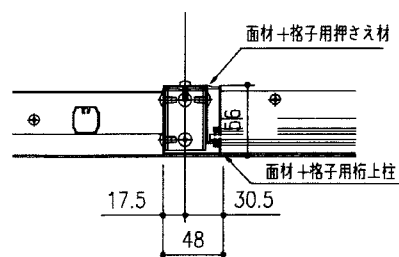
間別	間口	1間	1.5間	2間
間東間		454.5	454.5	454.5
間西間		552.5	575	598

B-B 断面图

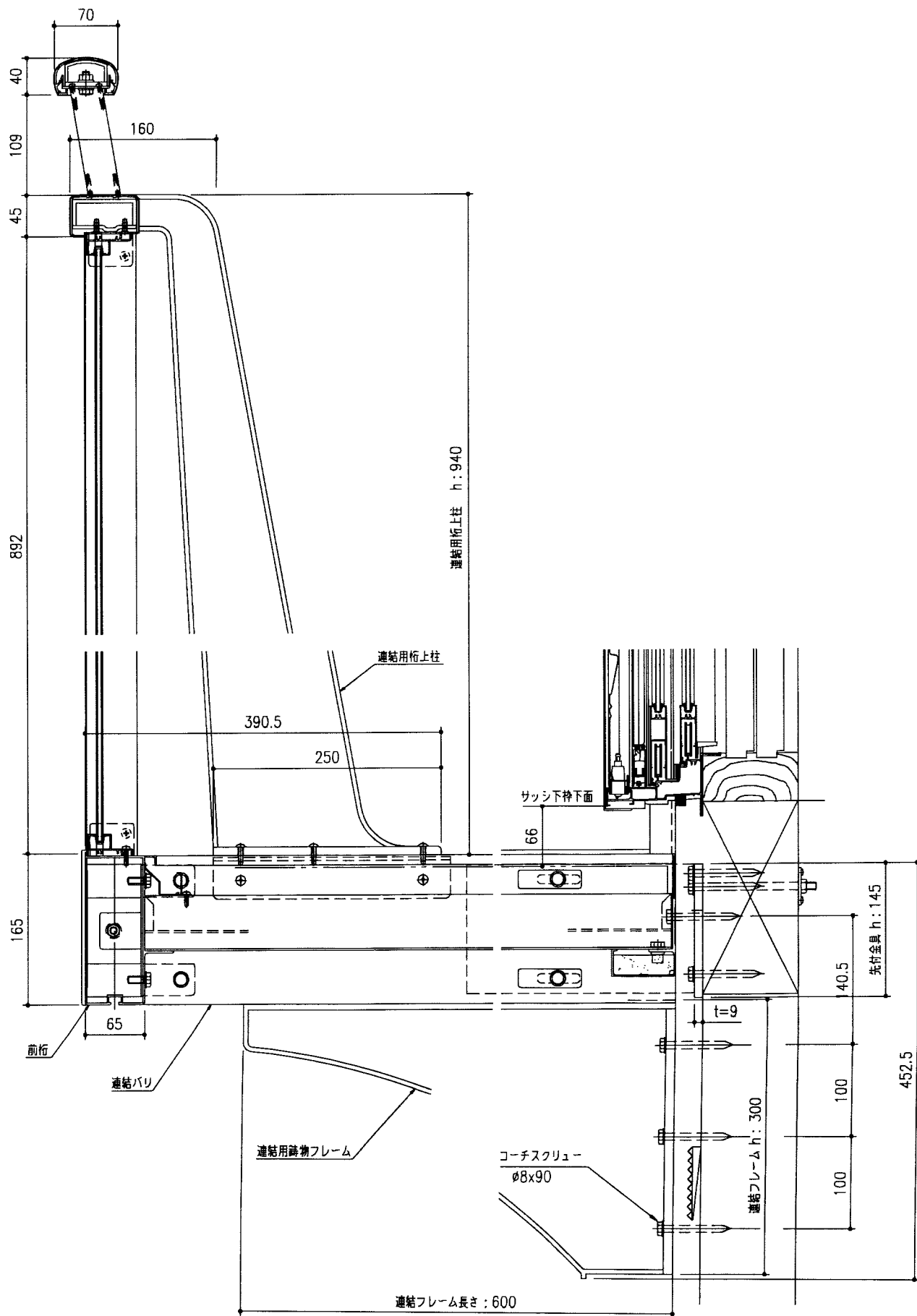


開口 箇所	1 間	1.5 間	2 間
関東間	454.5	454.5	454.5
関西間	552.5	575	598

Technical drawing of a window frame cross-section. The drawing shows a U-shaped frame with dimensions and labels. Key dimensions include a vertical height of 55 on the left, a horizontal width of 61 for the central section, and a distance of 30.5 from the center to the side rails. The total width is labeled as A. The bottom section is labeled with a pitch of 909 (桁上柱ピッチ P: 909). Labels include 'パネル縦枠' (Panel Vertical Frame) pointing to the top rail, '面材用押さえ材' (Face Material Holding Material) pointing to the top rail, and '面材用桁上柱' (Face Material Sill) pointing to the bottom rail.



● 面材タイプ
A-A断面図



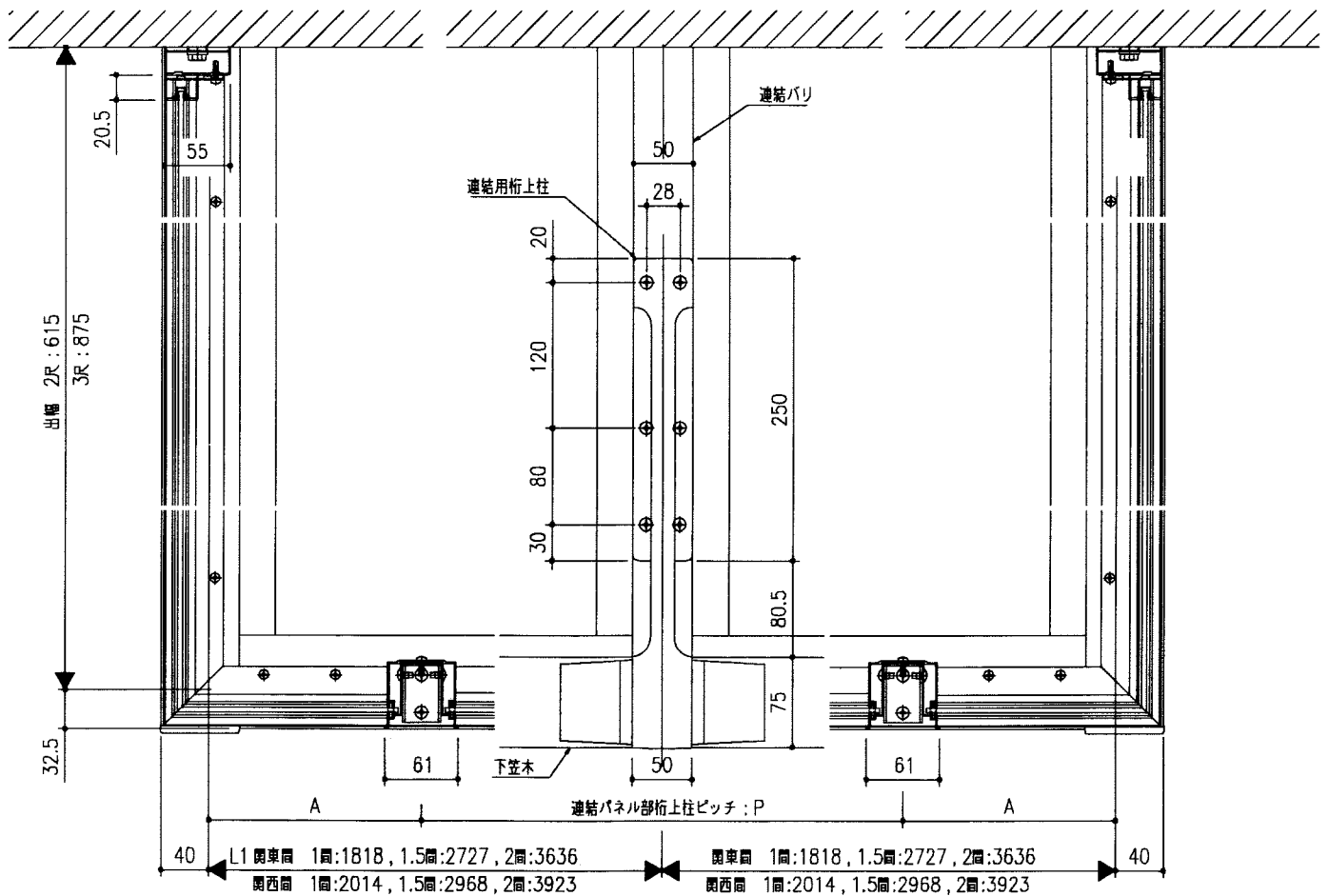
A寸法

間別	間口	1間	1.5間	2間
閑東間		454.5	454.5	454.5
閑西間		552.5	575	598

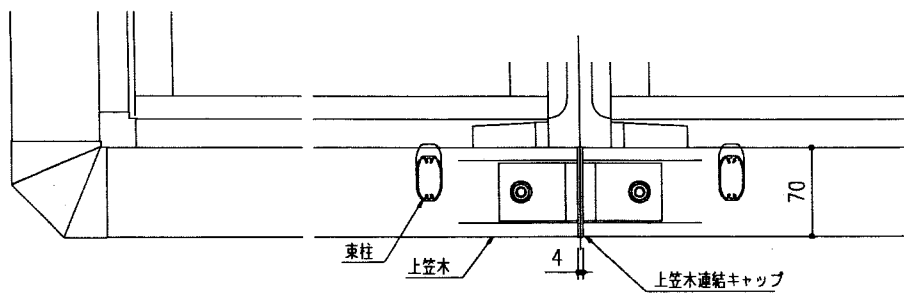
連結パネル部桁上柱ピッチ：P

間別	間口	2.5間	3間	3.5間	4間
閑東間		909	909	909	909
閑西間		1127.5	1150	1173	1196

C-C 断面図

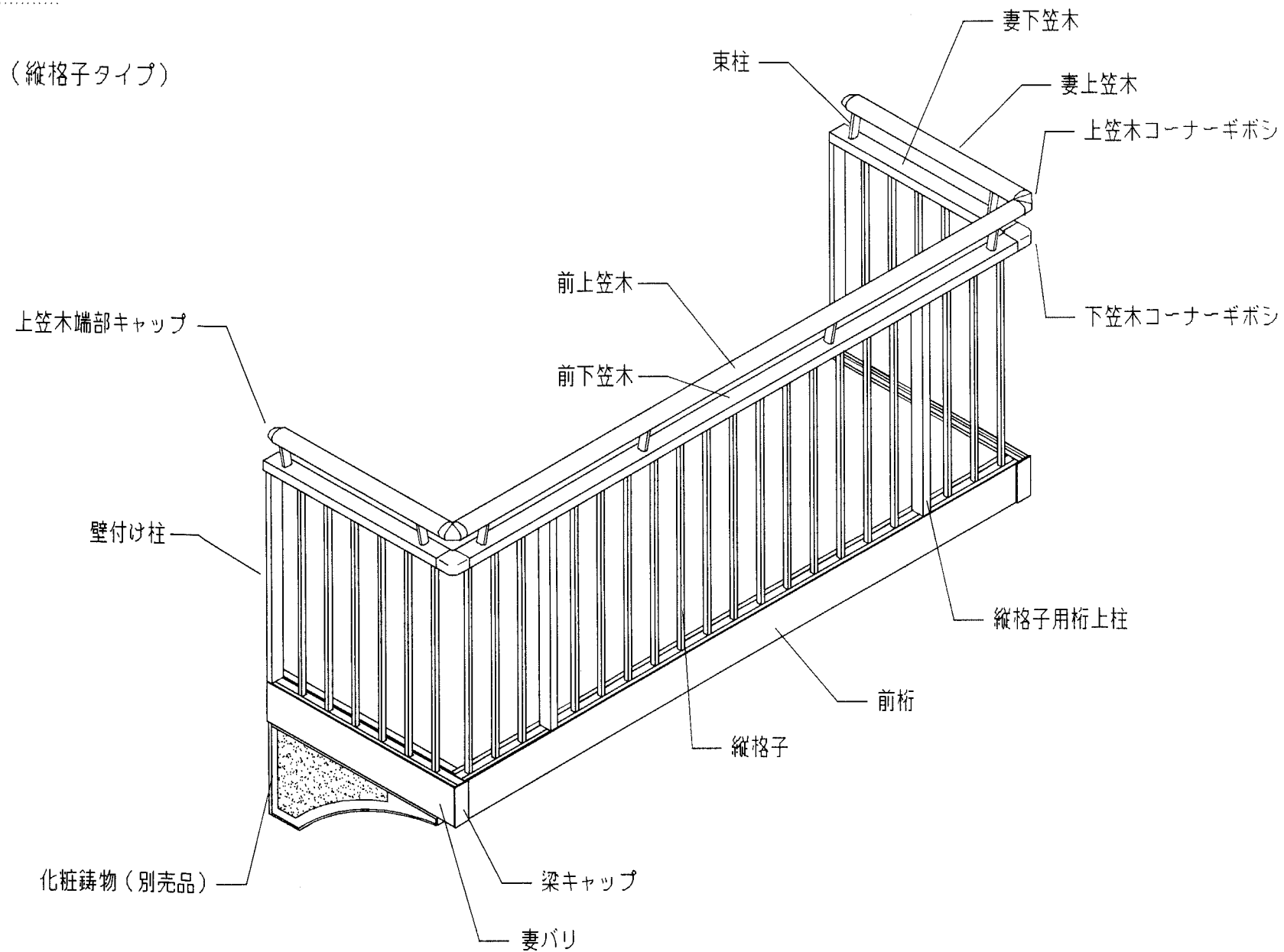


● 上笠木納まり図



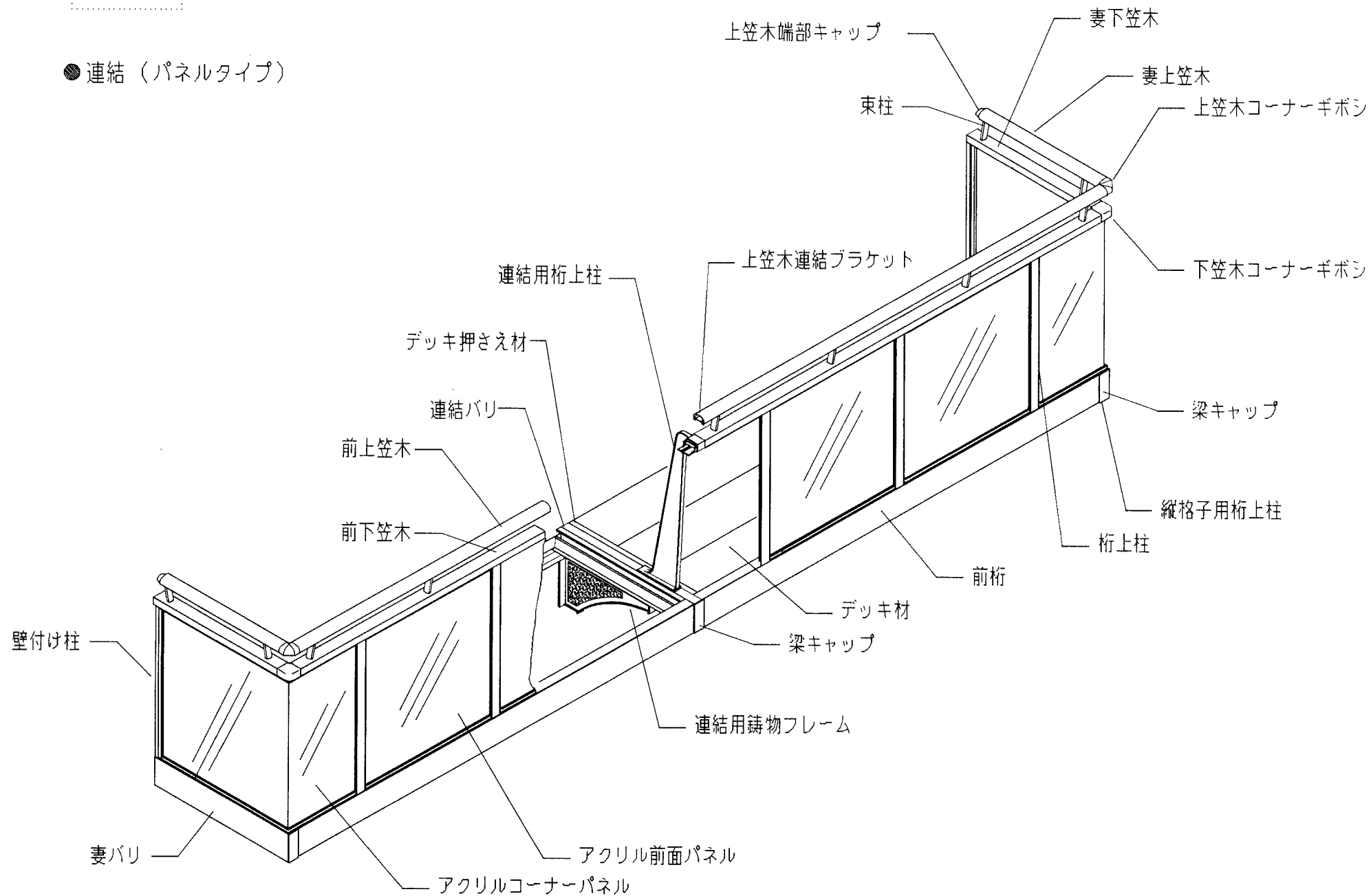
構成図

●単体（縦格子タイプ）



構成図

● 連結（パネルタイプ）

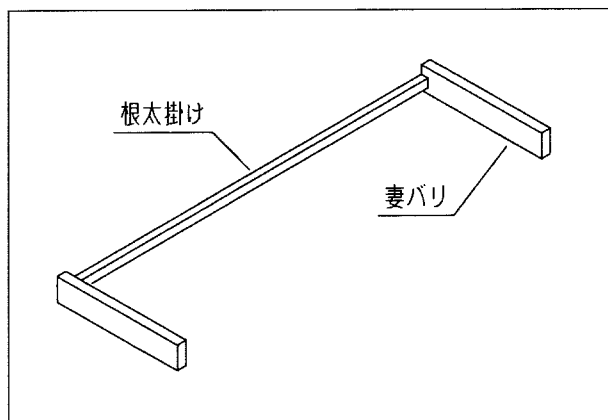


本体の組立・取付け

※ 本体の組立・取付けは、雨仕舞の関係上外壁仕上げ後に行なってください。

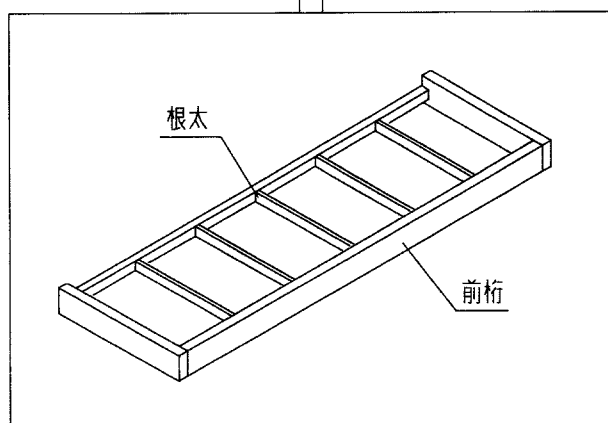
取付け場所の状況によって、取付け方法・取付け順序・取付け部材が異なります。下記の手順表を参考に施工を行なってください。

■ 標準組立て・取付け一覧表



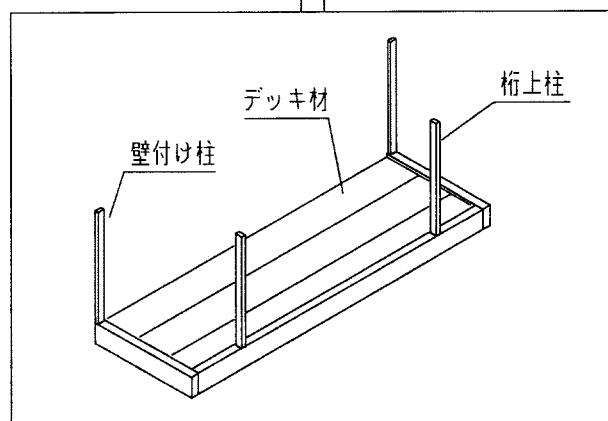
● 根太掛け・妻バリの取付け

- | | | |
|----|------------------|------|
| 1 | 根太掛け・妻バリの取付け | P.18 |
| 2 | 連結バリの組立て | P.18 |
| 3 | 連結バリの取付け | P.19 |
| 16 | 化粧錆物フレーム取付け（別売品） | P.31 |



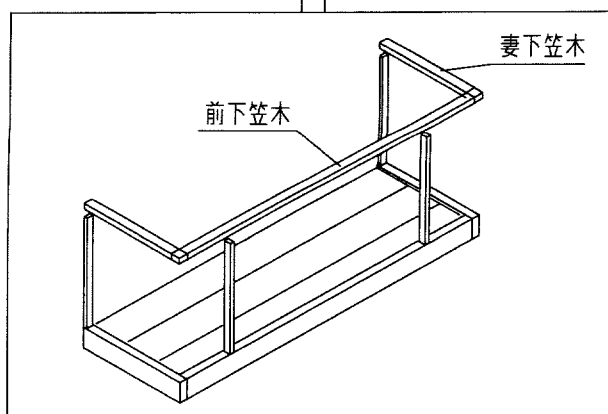
● 前桁・根太の取付け

- | | | |
|---|-----------|------|
| 4 | 前桁の取付け | P.20 |
| 5 | 梁キャップの取付け | P.21 |
| 6 | 根太材の取付け | P.21 |



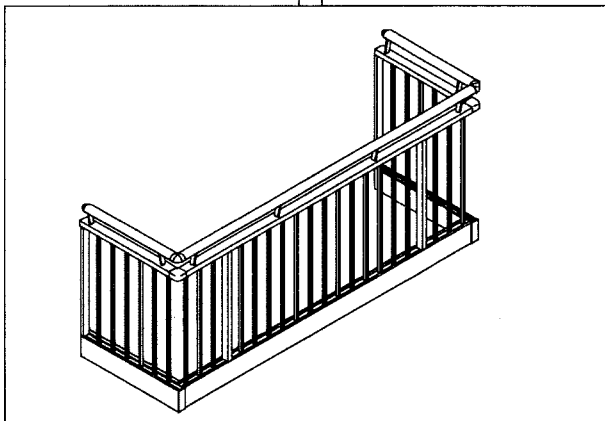
● デッキ材・壁付け柱・前桁の取付け

- | | | |
|---|-------------|------|
| 7 | デッキ材の取付け | P.22 |
| 8 | 壁付け柱と前桁の取付け | P.23 |



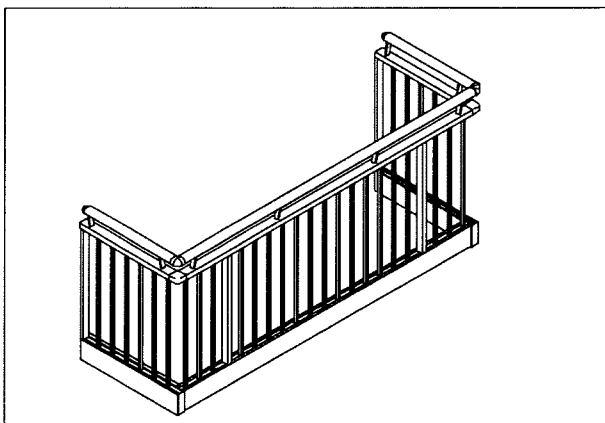
● 笠木の取付け

- | | | |
|----|------------|------|
| 9 | 下笠木の組立て | P.24 |
| 10 | 連結用前上柱の取付け | P.24 |
| 11 | 下笠木の取付け | P.25 |
| 12 | 上笠木の取付け | P.26 |



● パネルの取付け

- | | | |
|----|---------------|------|
| 13 | 面材タイプのパネルの取付け | P.27 |
| 14 | 縦格子パネルの取付け | P.28 |
| 15 | サイディングパネルの取付け | P.29 |
| 16 | サイディングパネルの割付け | P.35 |



● オプション品の取付け

- | | | |
|----|-------------------|------|
| 17 | 軒天面材の取付け | P.37 |
| 18 | 雨樋の取付け | P.39 |
| 19 | 化粧鋳物フレームの取付け（別売品） | P.40 |
| 20 | 先付け金具カバーの取付け（別売品） | P.40 |

※ この手順表（取付説明書）は、先図金具が既に取付けられている状態から始まります。

先付・補助金具の取付に関しては、別途”補助金具梱包”在中の取付説明書（ME-1066）をご覧ください。

※ 別売品の化粧鋳物は、P.30を参照してください。

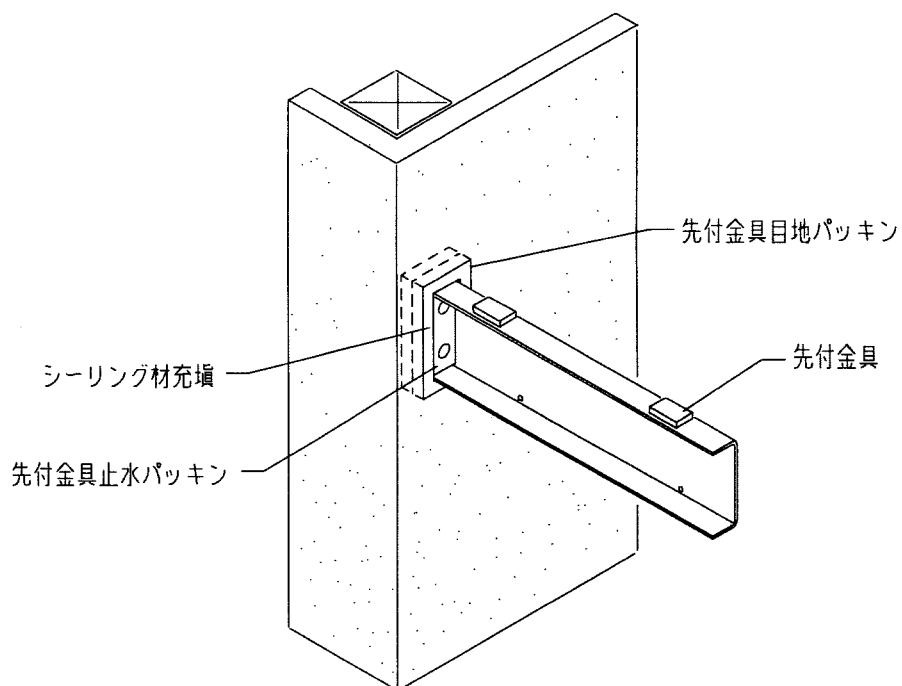
● 先付金具のシーリング処理

・先付金具の目地パッキンを取り除いた後に十分にシーリングを行ってください。
外壁仕上げ厚が 30mm 以上の場合は、目地パッキンを1つ残すとバックアップ材の変わりに使用できます。

・コーチスクリュー・ボルト類の増締めを確実に行ってください。その際、先付金具の水平・垂直が確実にできているか確認してください。

注意

シーリングが不十分ですと雨漏れの原因となります。
十分にシーリング処理をしてください。

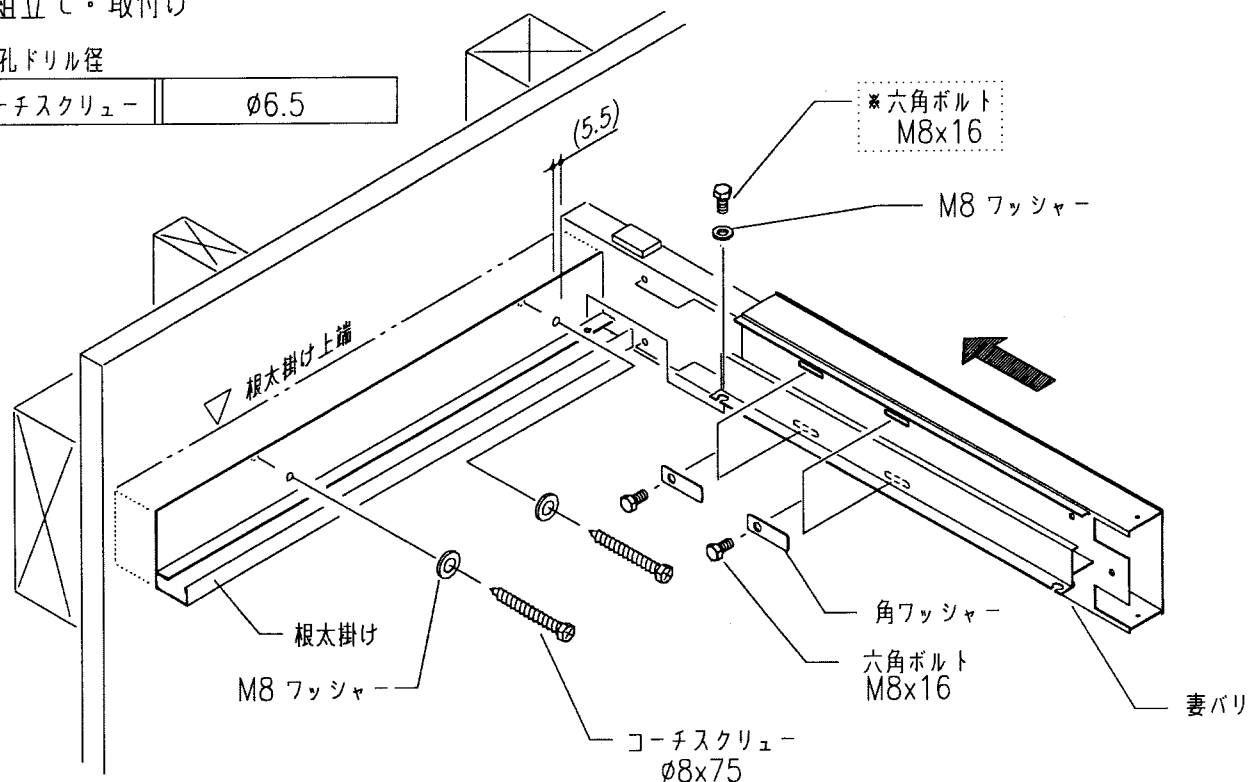


■ 本体の組立て・取付け

「参照」 下孔ドリル径

φ8x75 コーチスクリュー

φ6.5

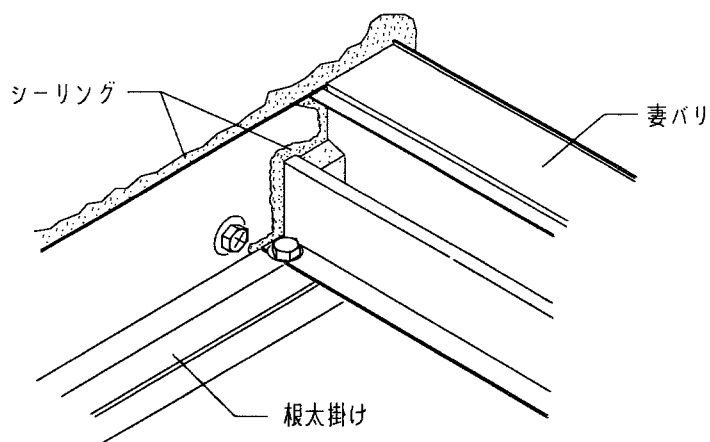
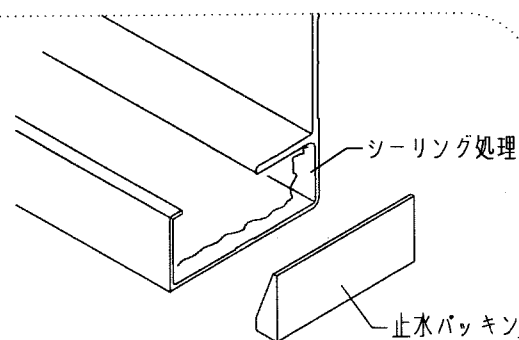


① 根太掛け・妻バリの取付け

- ① 妻バ리를先付金具に差し込み、根太掛けに※六角ボルト (M8x16) で固定してください。
- ② 根太掛けをコーチスクリュー (φ8x75) で躯体に固定します。
 - ・コーチスクリューを取付ける際、躯体側に柱・周柱・胴差し等があることを確認の上、取付けてください。
 - ・また、雨漏れ防止のため取付孔には十分シーリング材を充填した後、取付けを行ってください。コーチスクリューは、確実にねじ込んでください。
- ③ 妻バリと先付金具を六角ボルト (M8x16) ・角ワッシャーで固定します。
- ④ 妻バリと壁面間にシーリング材を充填します。
 - ・根太掛けの上部にも十分にシーリング処理を行ってください。

注意

根太掛け小口は、必ずシーリング処理してください。



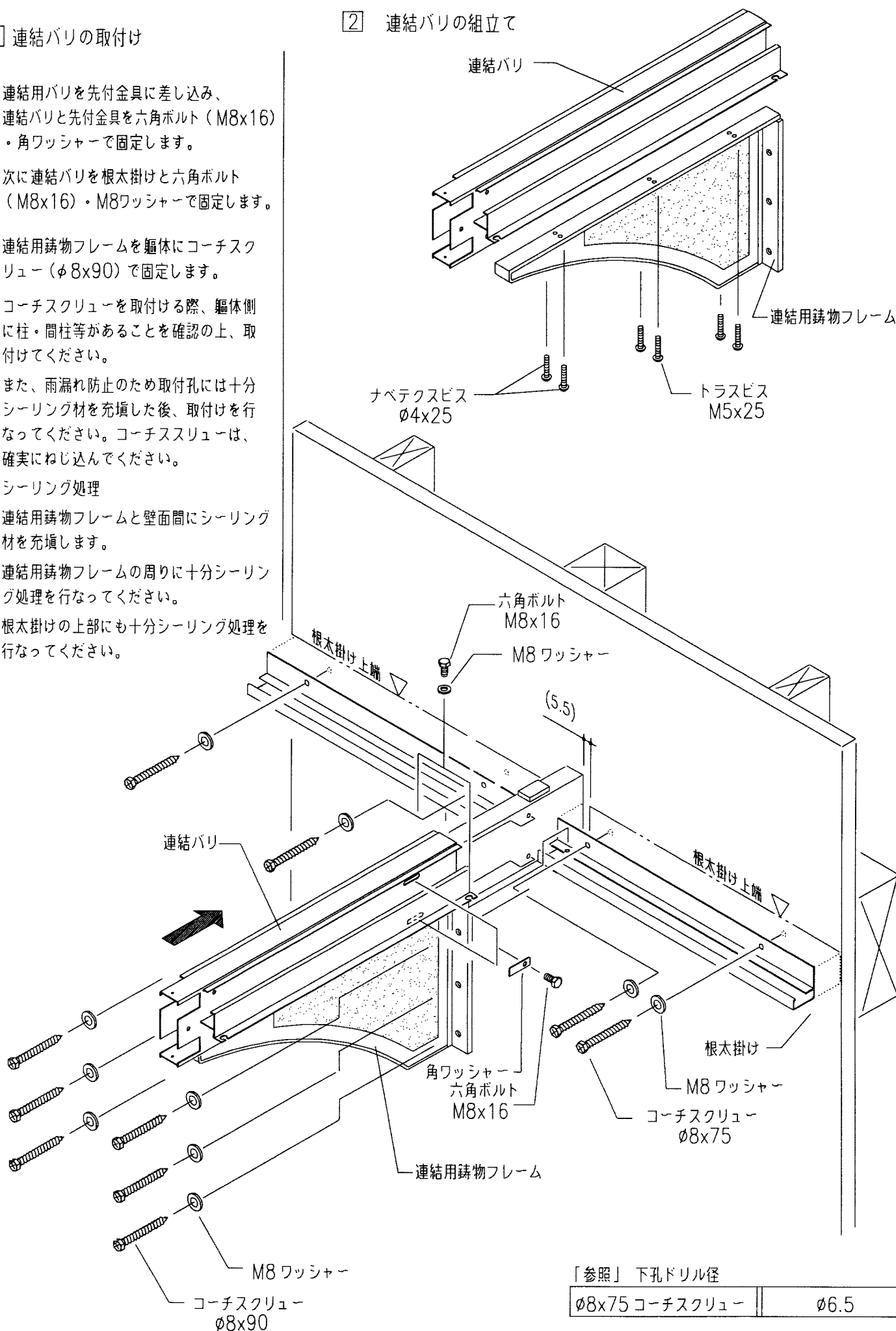
② 連結バリの組立て

- ① スポンジ周辺に十分シーリング処理を行ってください。
- ② 連結バりに連結用鋳物フレームをトラスビス (M5x25) で取付けます。

③ 連結バリの取付け

- ① 連結用バリを先付金具に差し込み、
連結バリと先付金具を六角ボルト（M8x16）
・角ワッシャーで固定します。
- ② 次に連結バ리를根太掛けと六角ボルト
（M8x16）・M8ワッシャーで固定します。
- ③ 連結用鋳物フレームを躯体にコーチスクリュー（ $\phi 8 \times 90$ ）で固定します。
・コーチスクリューを取付ける際、躯体側に柱・間柱等があることを確認の上、取付けてください。
・また、雨漏れ防止のため取付孔には十分シーリング材を充填した後、取付けを行なってください。コーチスクリューは、確実にねじ込んでください。
- ⑤ シーリング処理
・連結用鋳物フレームと壁面間にシーリング材を充填します。
・連結用鋳物フレームの周りに十分シーリング処理を行なってください。
・根太掛けの上部にも十分シーリング処理を行なってください。

② 連結バリの組立て



④ 前桁の取付け

- ① あらかじめ前桁に前桁 Bracket・柱固定 Bracket を取付けておきます。

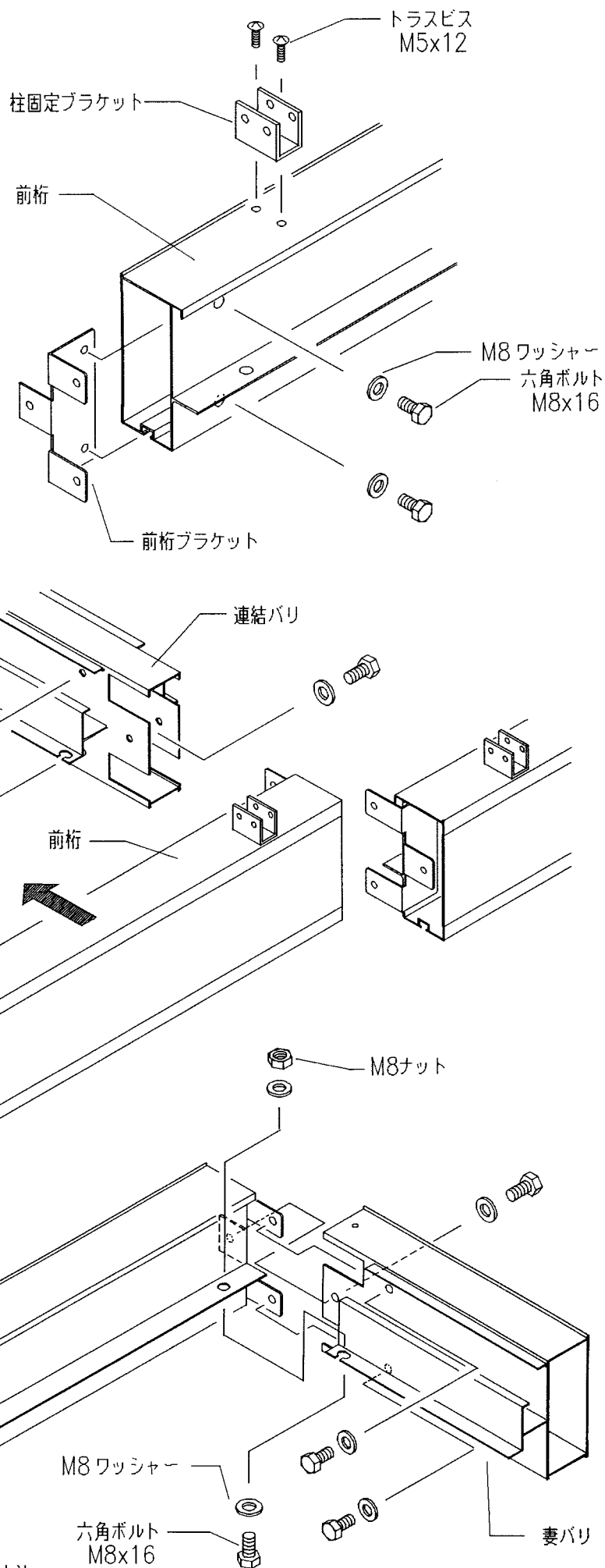
・柱固定 Bracket の数

※開東側・開西側共通

前面パネル	間口サイズ		
	1 間	1.5 間	2 間
縦格子タイプ	2	2	2
面材タイプ	2	3	4

- ② 妻バリ・連結バリに前桁 Bracket を差し込みボルト締めをします。

※ 妻バリ・連結バリに前桁 Bracket を差し込む際、入りにくい場合は、無理に叩いたりせず一度前桁のボルトをゆるめてすり合わせの上、固定してください。



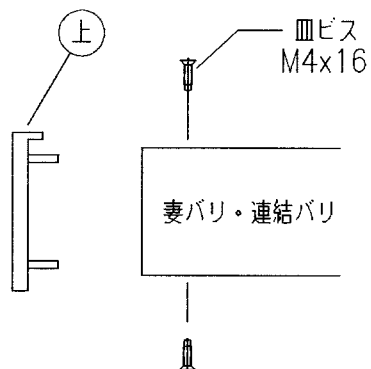
※内側から見た取付け方法

⑤ 梁キャップの取付け

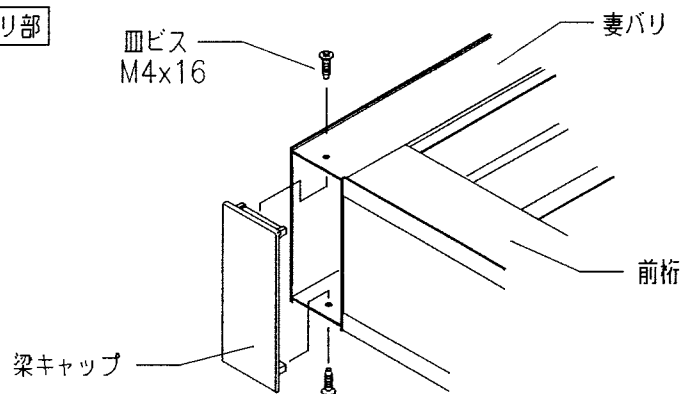
- ・左右の妻バリ・連結バリに梁キャップを取付けます。
- ・梁キャップは、妻バリ・連結バリ共通品を使用しております。

注意

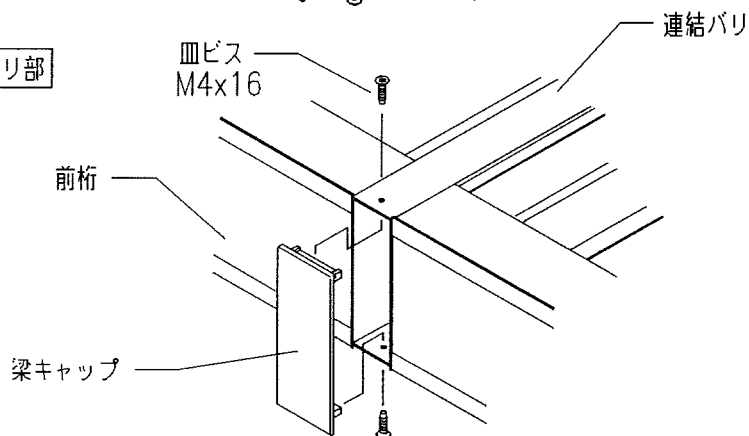
梁キャップには、上下がありますので注意してください。



左右妻バリ部

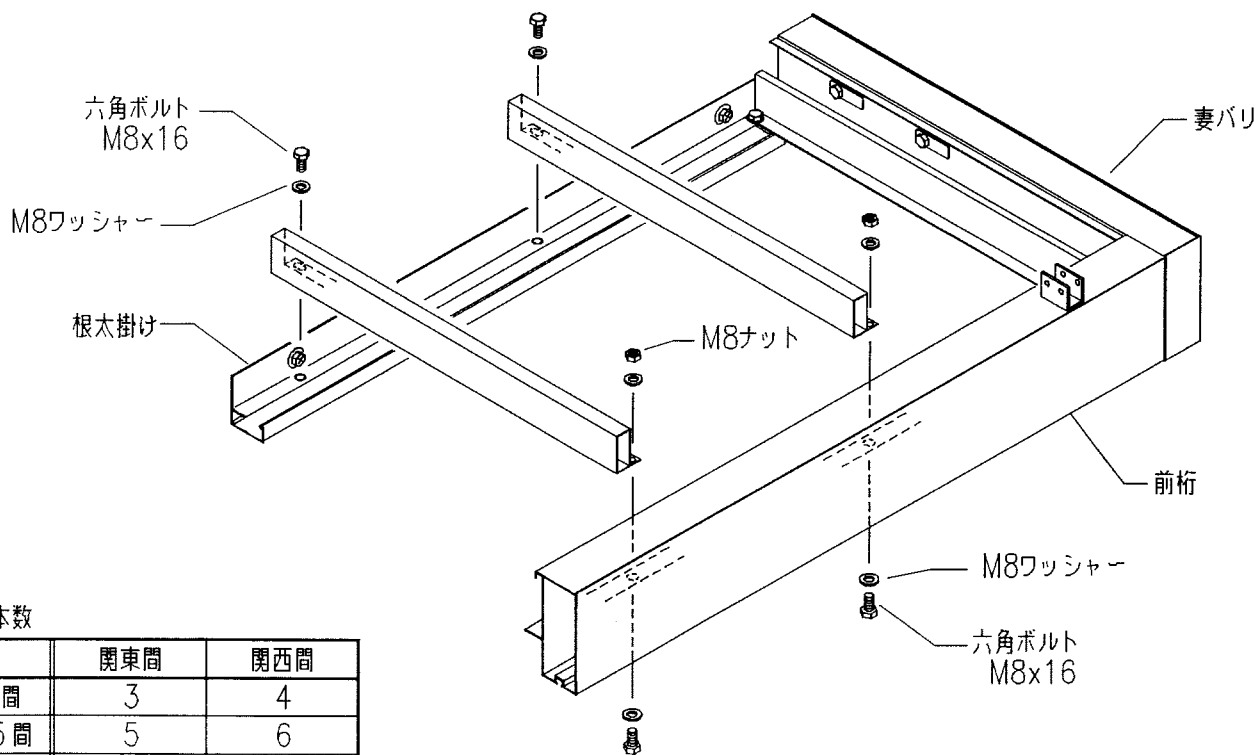


連結バリ部



⑥ 根太材の取付け

- ・根太掛けと前桁に根太を取付けます。
- ※ 根太の方向に注意してください。



・根太本数

	関東間	関西間
1 間	3	4
1.5 間	5	6
2 間	7	8

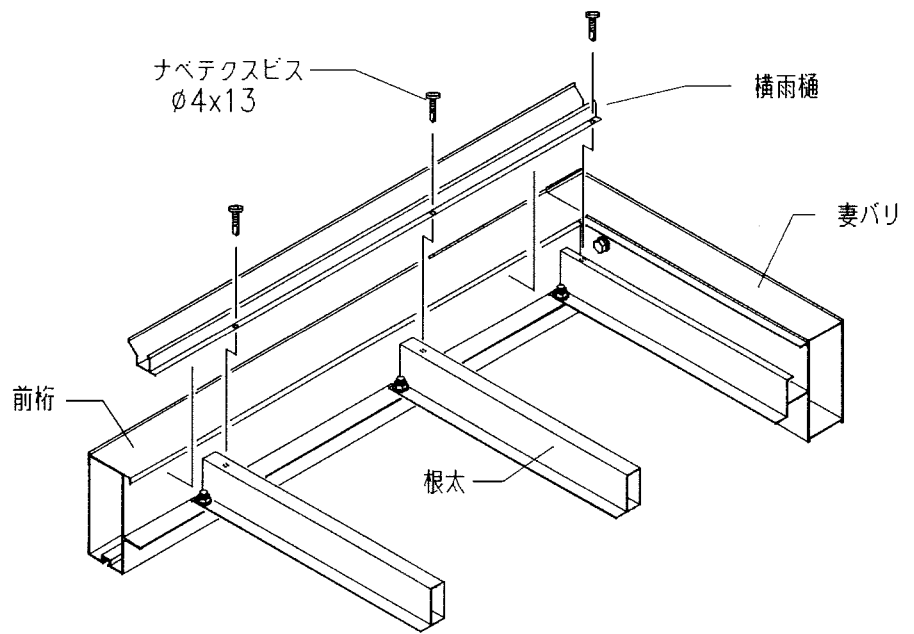
※ 連結時は、単体組み合わせの合計となります。

⑦ デッキ材の取付け

① 横雨樋を取付けます。

横雨樋を根太の上におき、前桁に押し当てた状態でナベテクスビス(φ4×13)で固定します。

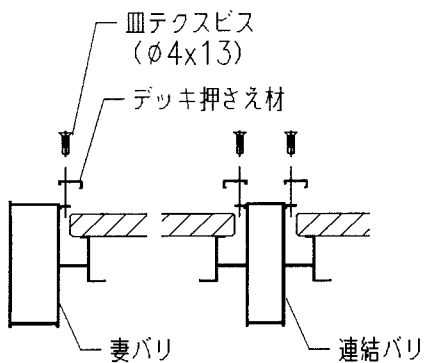
※ 横雨樋は、デッキ材上面より前桁に流れた雨を左右妻バリに流す部材です。
横雨樋の部材色は、すべてシルバー色となります。



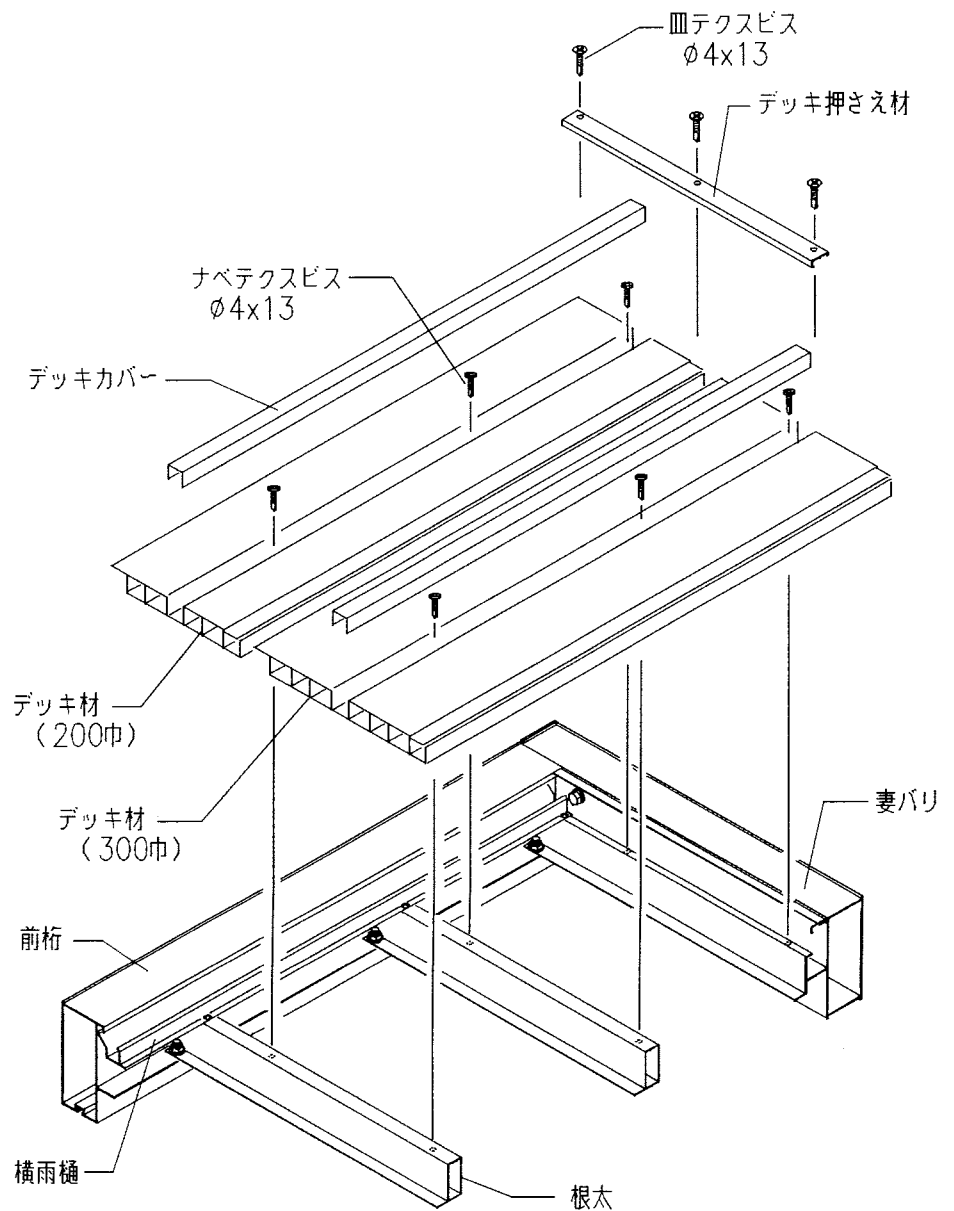
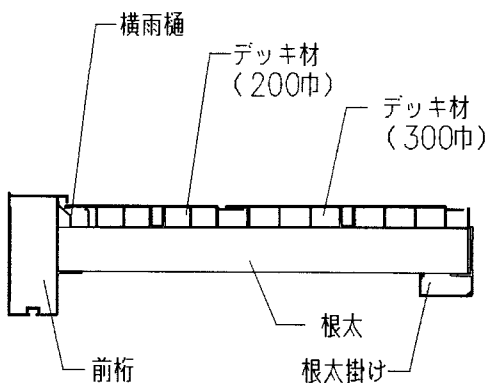
② デッキ材を敷きます。

- デッキ材は、前桁側より敷いていきます。デッキ材の方向・間口寸法は、十分注意の上敷いてください。
- 根太にナベテクスビス(φ4×13)で固定します。
- デッキ材を固定後、妻バリ・連結バリにデッキ押さえ材を取付けます。
- デッキ材には、200巾と300巾があります。前桁側に200巾を使用してください。

床部断面図(間口方向)



床部断面図(奥行き方向)



⑧ 壁付け柱と桁上柱の取付け

① 壁付け柱をコーチスクリュー（φ8x75）で取付けます。（垂直・間口方向の寸法を確認後取付けてください。）

・コーチスクリューを取付ける際、躯体側に柱・間柱・胴差し等があることを確認の上、取付けてください。

・また、雨漏れ防止のため取付孔には十分シーリング材を充填した後、取付けを行なってください。コーチスクリューは、確実にねじ込んでください。

② 孔塞ぎキャップを取付けます。

（縦格子タイプの場合のみ）

③ 桁上柱を柱固定ブラケットに差し込みトラスビス（M5x12）で取付けます。

・間柱の本数

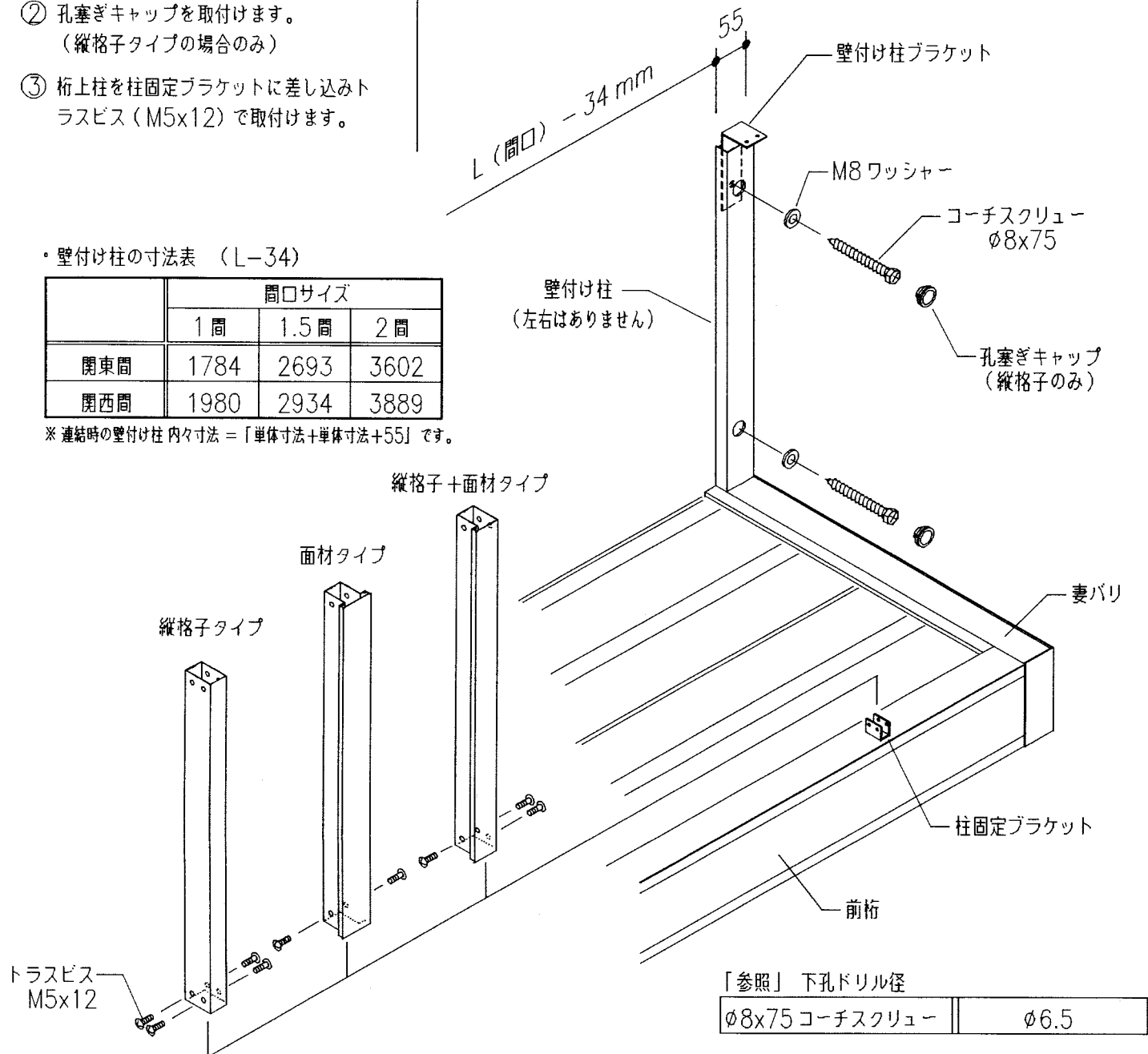
※開東間・開西間共通

前面パネル	間口サイズ		
	1間	1.5間	2間
縦格子タイプ	2	2	2
面材タイプ	2	3	4

・壁付け柱の寸法表（L-34）

	間口サイズ		
	1間	1.5間	2間
開東間	1784	2693	3602
開西間	1980	2934	3889

※連結時の壁付け柱 内寸法 = 「単体寸法 + 単体寸法 + 55」です。

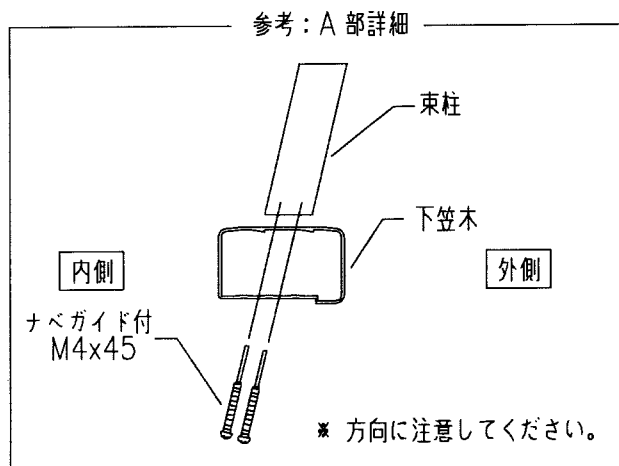
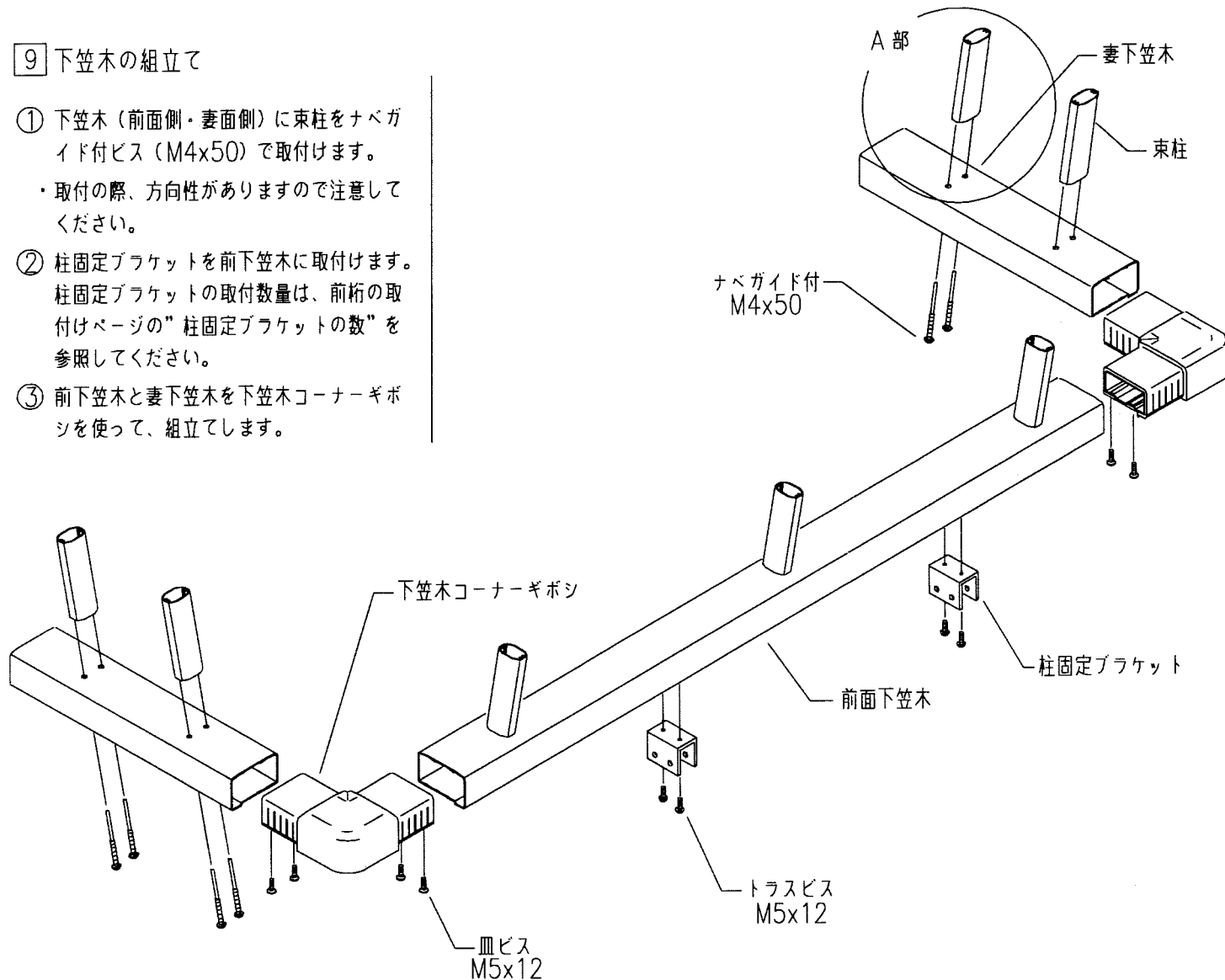


※ 桁上柱は、パネルタイプによって変わります。

※ 桁上柱の加工は上下対称です。内外の向きに注意して取付けてください。

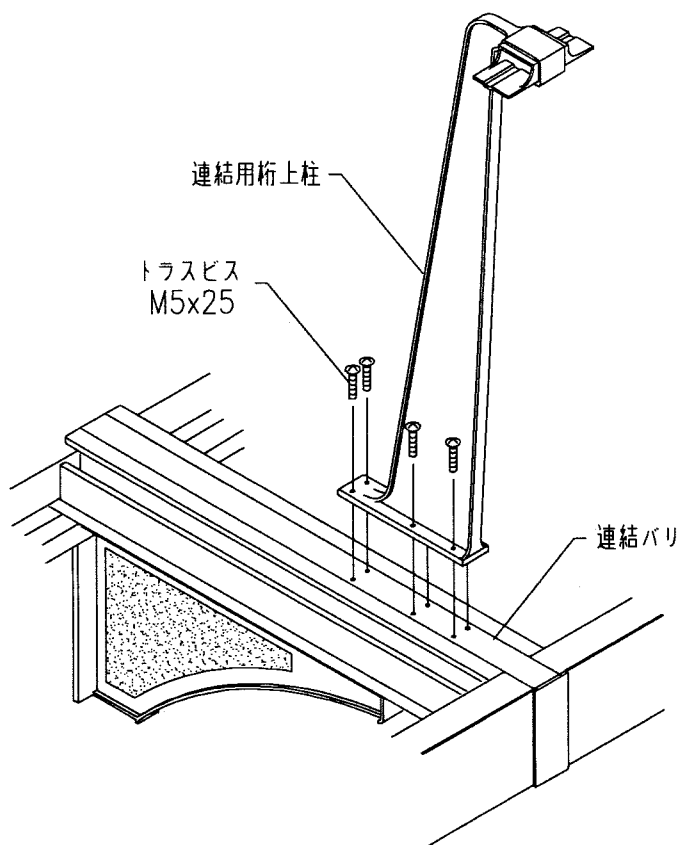
9 下笠木の組立て

- ① 下笠木（前面側・妻面側）に束柱をナビガイド付ビス（M4x50）で取付けます。
・取付の際、方向性がありますので注意してください。
- ② 柱固定ブラケットを前下笠木に取付けます。
柱固定ブラケットの取付数量は、前桁の取付けページの“柱固定ブラケットの数”を参照してください。
- ③ 前下笠木と妻下笠木を下笠木コーナーギボシを使って、組立てします。



10 連結用桁上柱の取付け (連結時のみ)

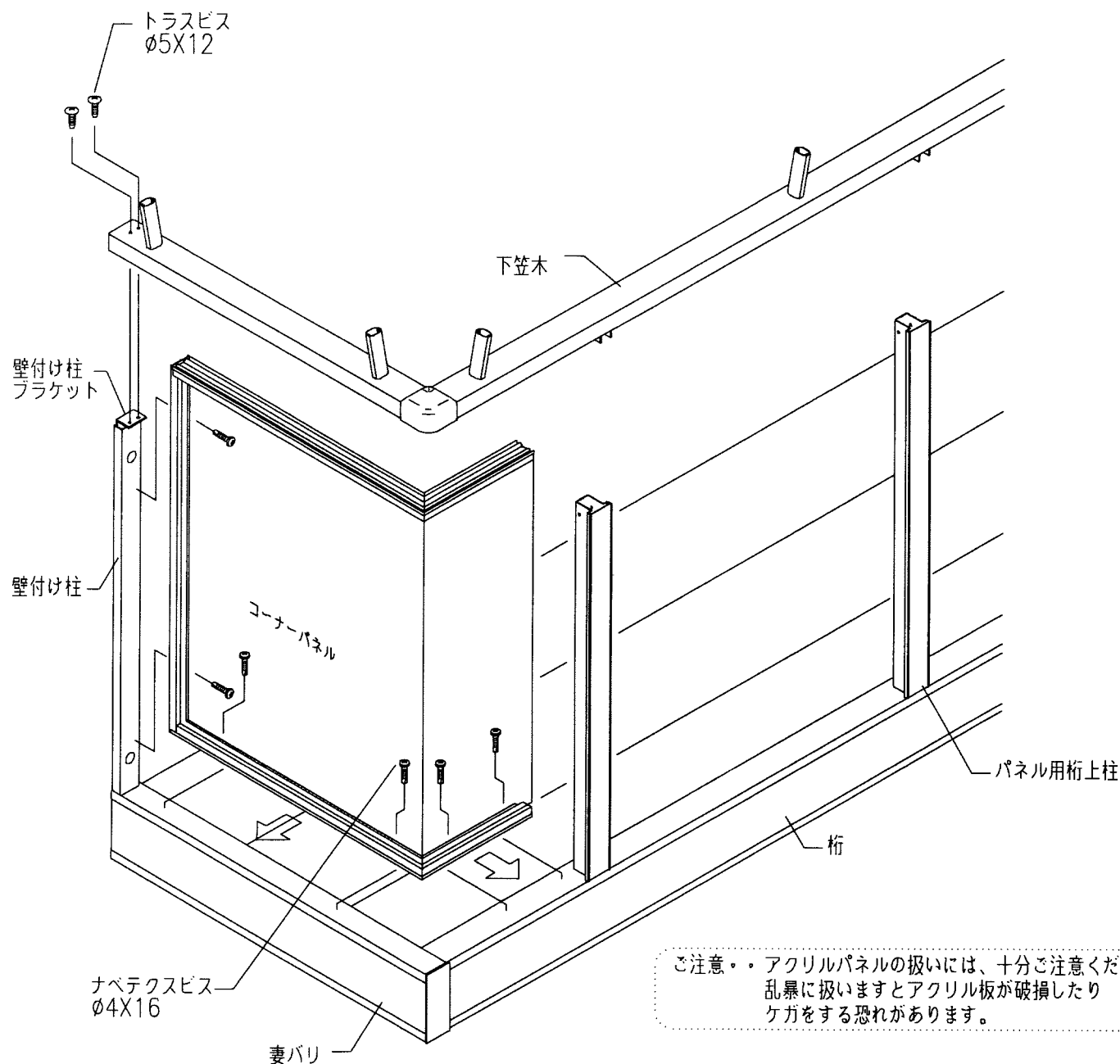
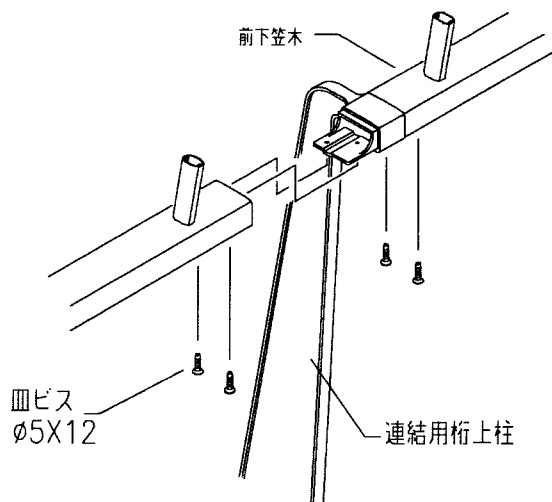
- ・連結用桁上フレームを連結バりにトラスビス（M5x25）で取付けます。



11 下笠木の取付け

連結タイプ：連結桁上柱取付図

- ① 面材タイプの場合、下笠木を取付けてからではコーナパネルの取付けが困難になりますのでコーナパネルは、下笠木取付けより前に取付けてください。
その際、パネルが落下する恐れがありますので必ず固定してください。
- ② 下笠木に付いている柱固定ブラケットを桁上柱に差込んでください。
- ③ 妻下笠木は、壁付け柱ブラケットに差し込み、トラスビス（M5x12）で固定します。
- ④ 連結時は、連結用桁上柱に下笠木を差し込み、皿ビス（M5x12）で固定します。



ご注意・・・アクリルパネルの扱いには、十分ご注意ください。
乱暴に扱いますとアクリル板が破損したり
ケガをする恐れがあります。

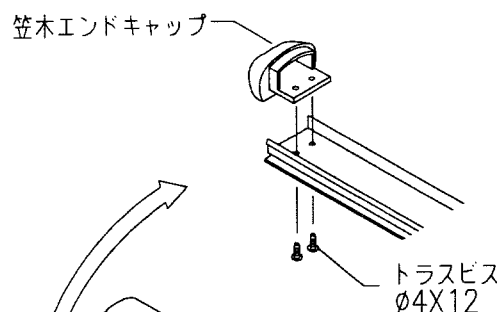
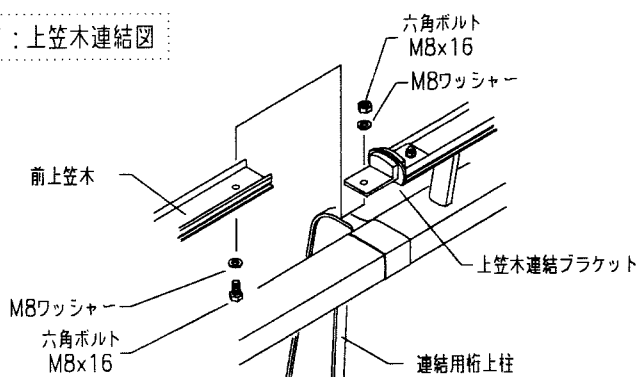
12 上笠木・上笠木カバーの取付け

- ① 妻上笠木に上笠木エンドキャップをトラスビス (M4x12) で取付けます。

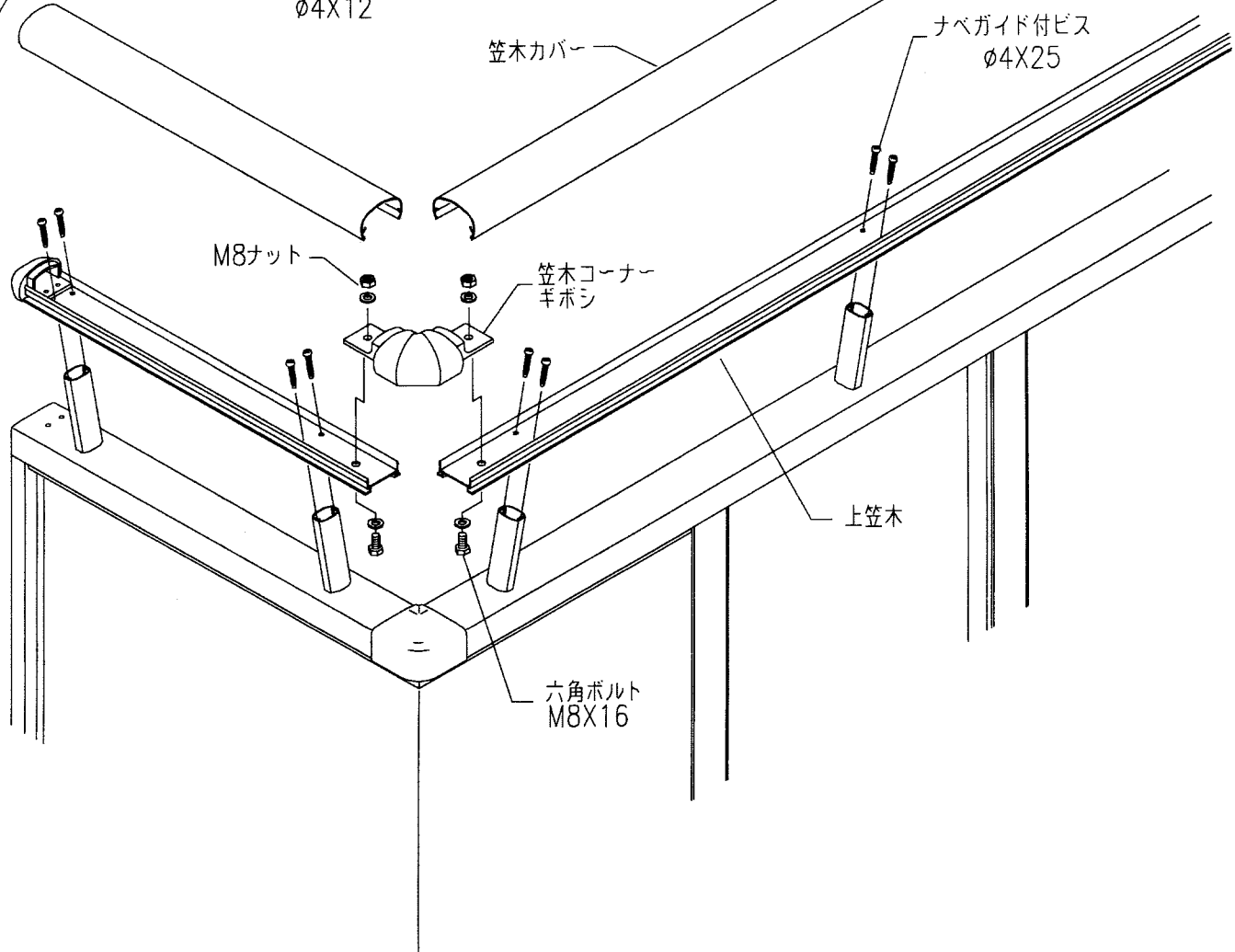
「注意」 上笠木エンドキャップは、上笠木を束柱に取付ける前に取付けてください。

- ② 前上笠木・妻上笠木は束柱にナベガイド付ビス (M4x25) で取付けます。
- ③ 前上笠木と妻上笠木は上笠木コーナーギボシを使い六角ボルト (M8x16)・M8 ナットで固定します。
- ④ 連結時は、上笠木連結金具で上笠木を連結します。
- ⑤ 前上笠木・妻上笠木に笠木カバーを取付けます。

連結タイプ：上笠木連結図



注意：笠木エンドキャップは、上笠木を束柱に取付ける前に取付けてください。



13 面材タイプのパネルの取付け

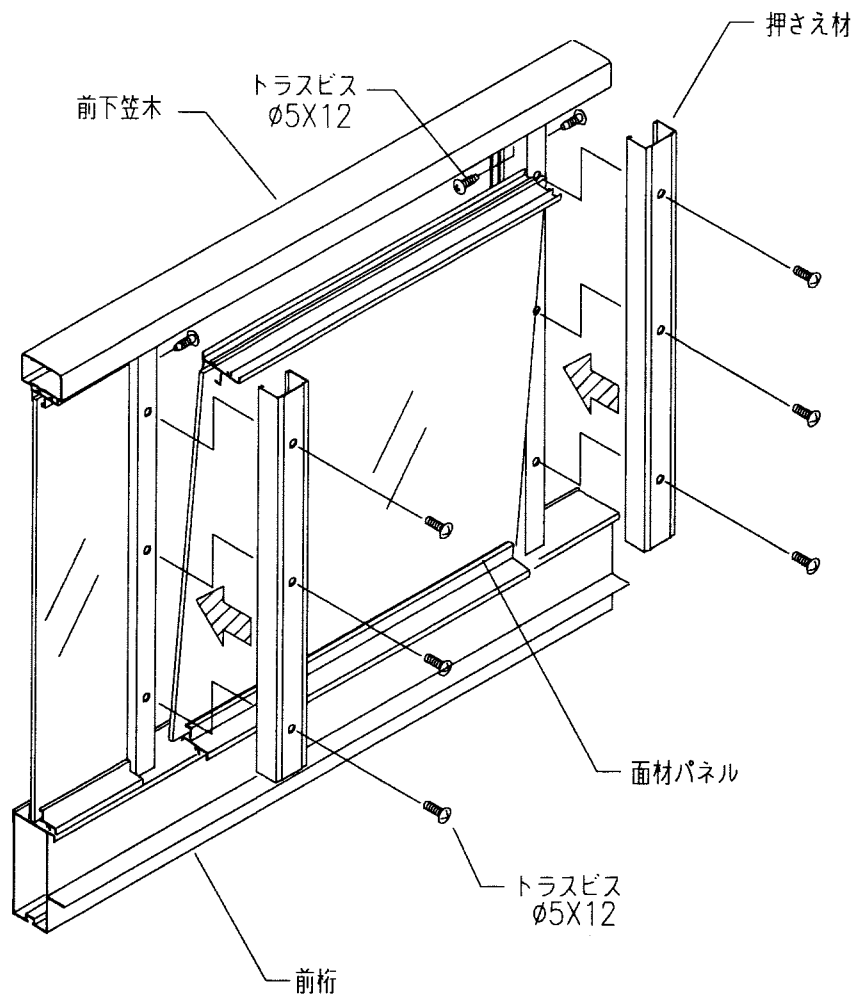
① パネルを本体に組み込みましたら
桁上柱上部を $\phi 5 \times 12$ トラスビスで柱と
下笠木を固定してください。

② 押さえ材を $\phi 5 \times 12$ トラスビスで
桁上柱に取付けます。

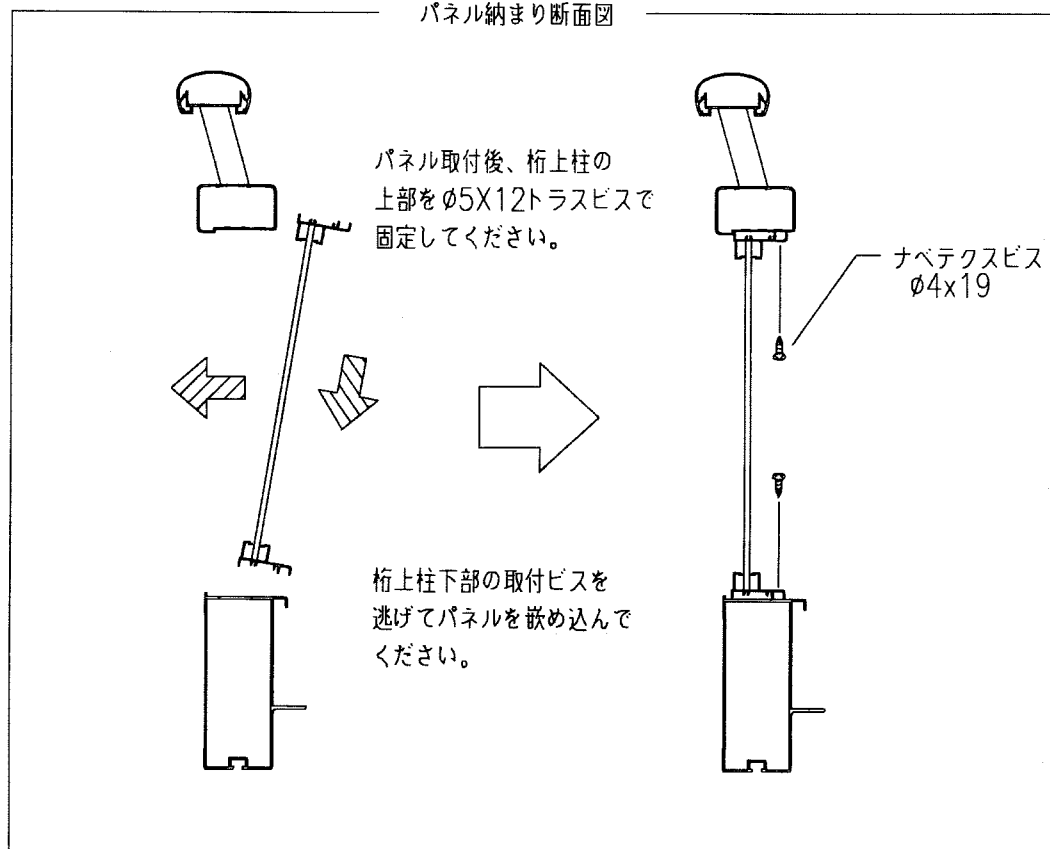
「注意」 あらかじめ面材と上下枠は、工
場出荷時に組立ててあります。
パネルは、左右面材が形材より
約10mm出ているので、出
ている面材を桁上柱のビード面
に押し当て後、押さえ材で押さ
え固定します。

③ 前下笠木・前桁にパネル上下枠をナベテク
スビス($\phi 4 \times 19$)で取付けます。

ご注意・・・面材パネルは、面材自体を持って
ください。面材が枠から外れる恐
れがあります。



パネル納まり断面図



14 縦格子パネルの取付け

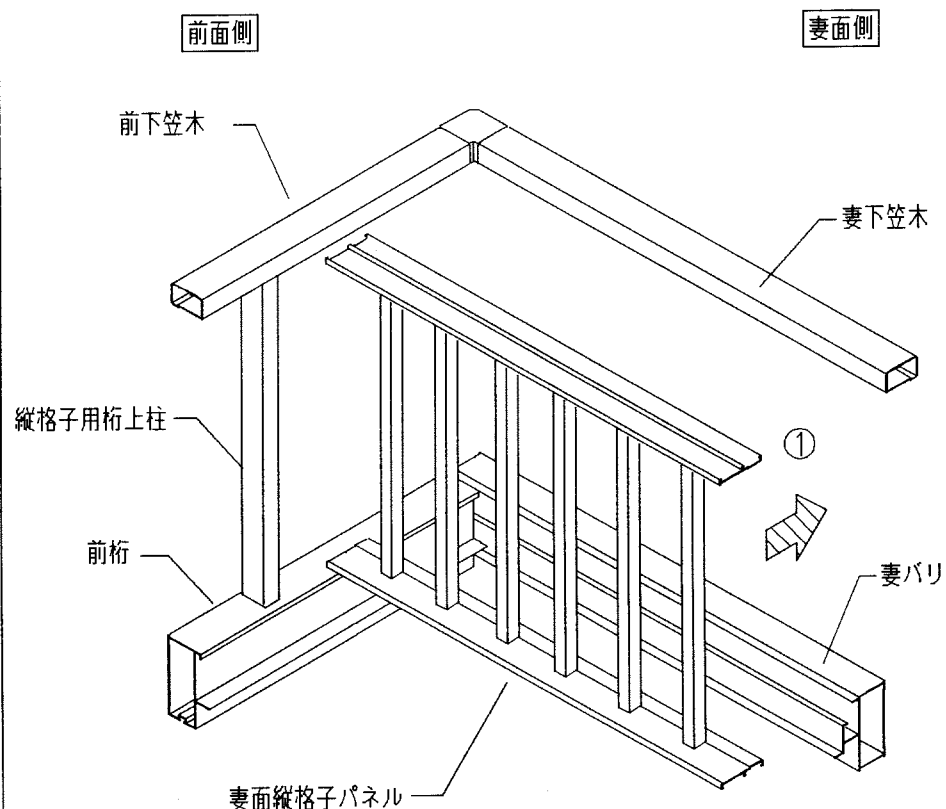
- ① コーナー部の妻面縦格子パネルを本体に組み込みテクスビス (φ4×13) で取付けます。

「注意」 コーナーパネル部は、妻面のパネルを先に取付後、前面側を取付けます。

前面を先に付けると妻面のパネルが入らなくなります。

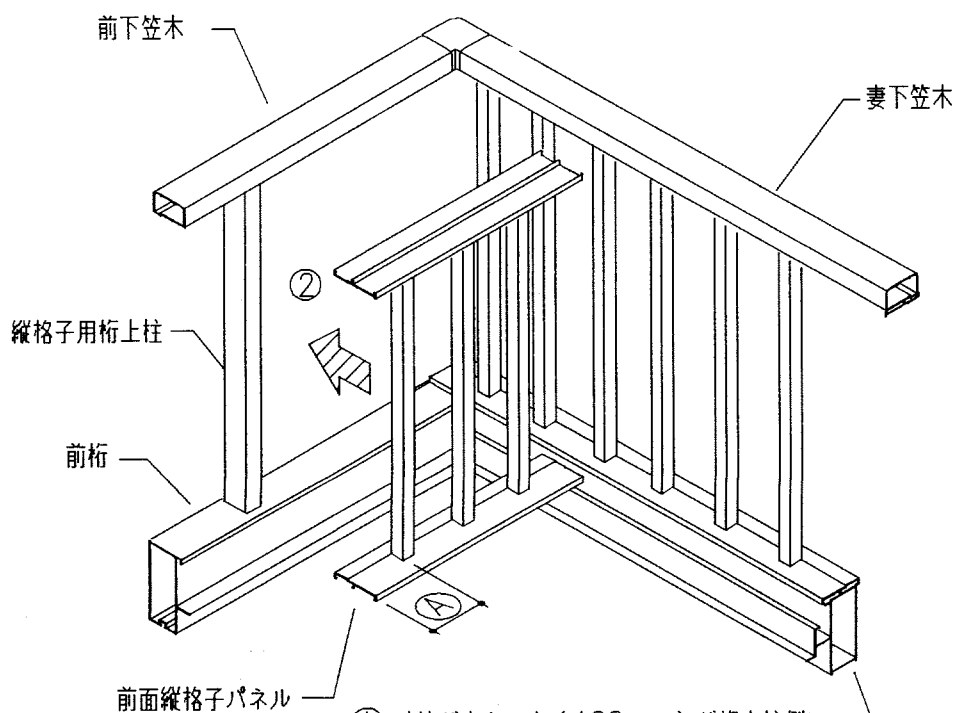
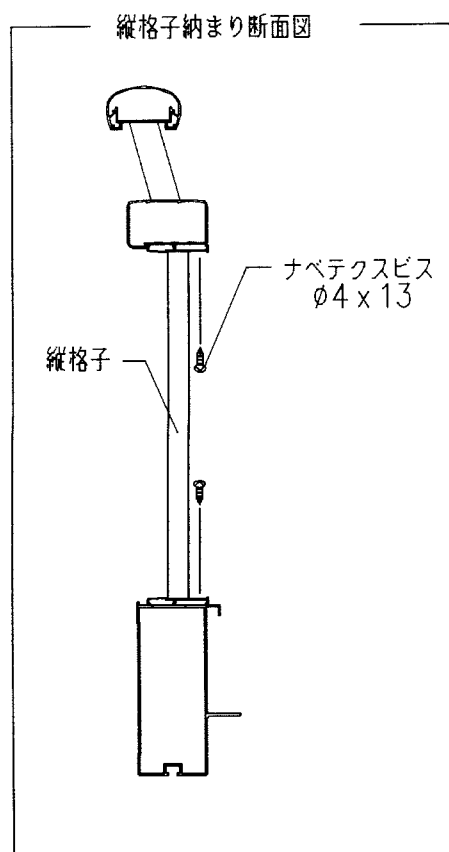
- ② コーナー部の前面縦格子パネルを本体に組み込みナベテクスビス (φ4×13) で取付けます。

- ③ 前面縦格子パネルを本体に組み込みナベテクスビス (φ4×13) で取付けます。



前面側

妻面側

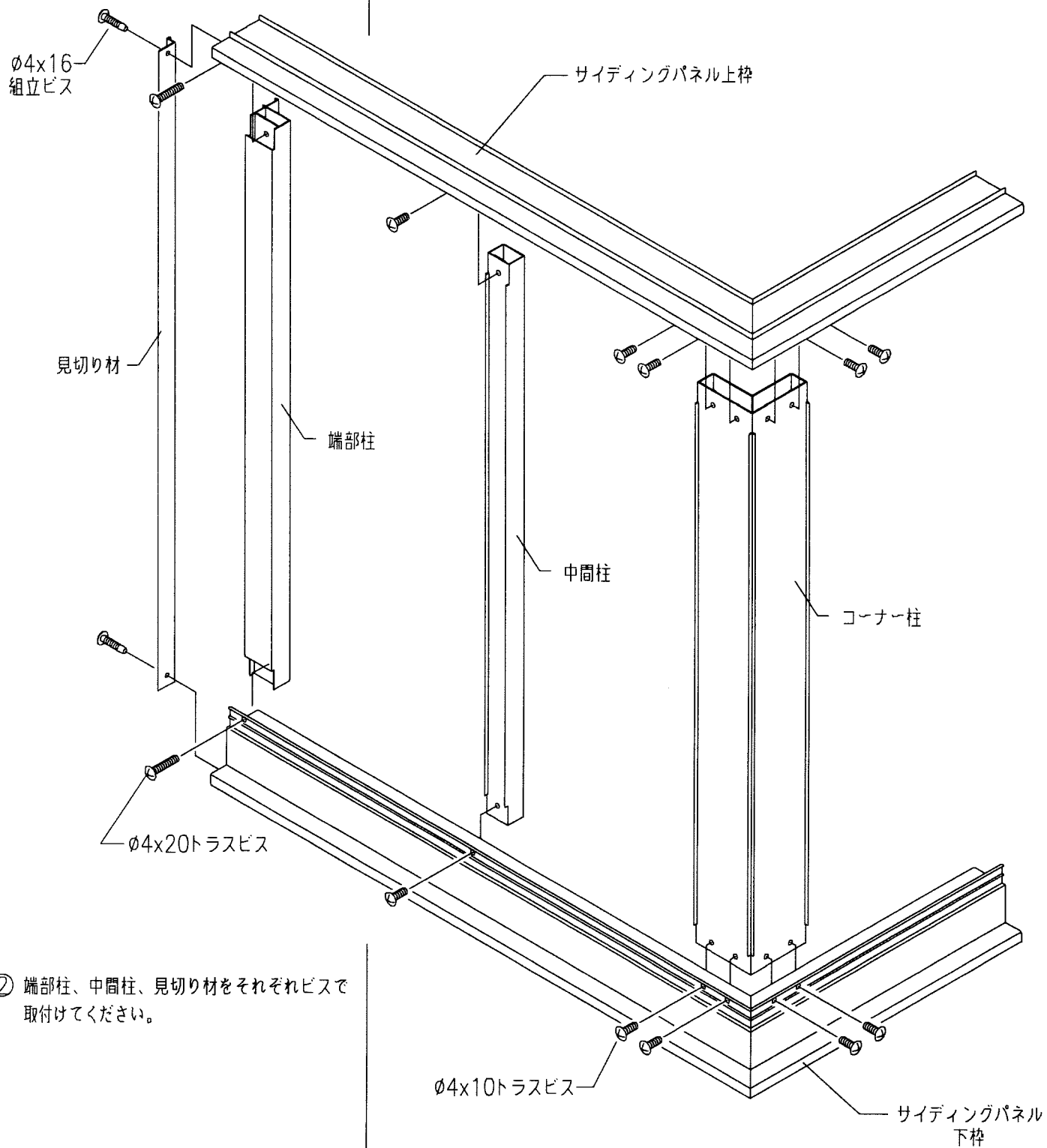


④ 寸法が大きい方 (100mm) が桁上柱側になる様に取付けてください。
反対に取付けると、コーナー側の格子内々寸法が110mm以上になるため、危険です。
妻側の格子パネルは、左右対称です。

15 サイディングパネルの取付

● コーナーパネル枠の組立

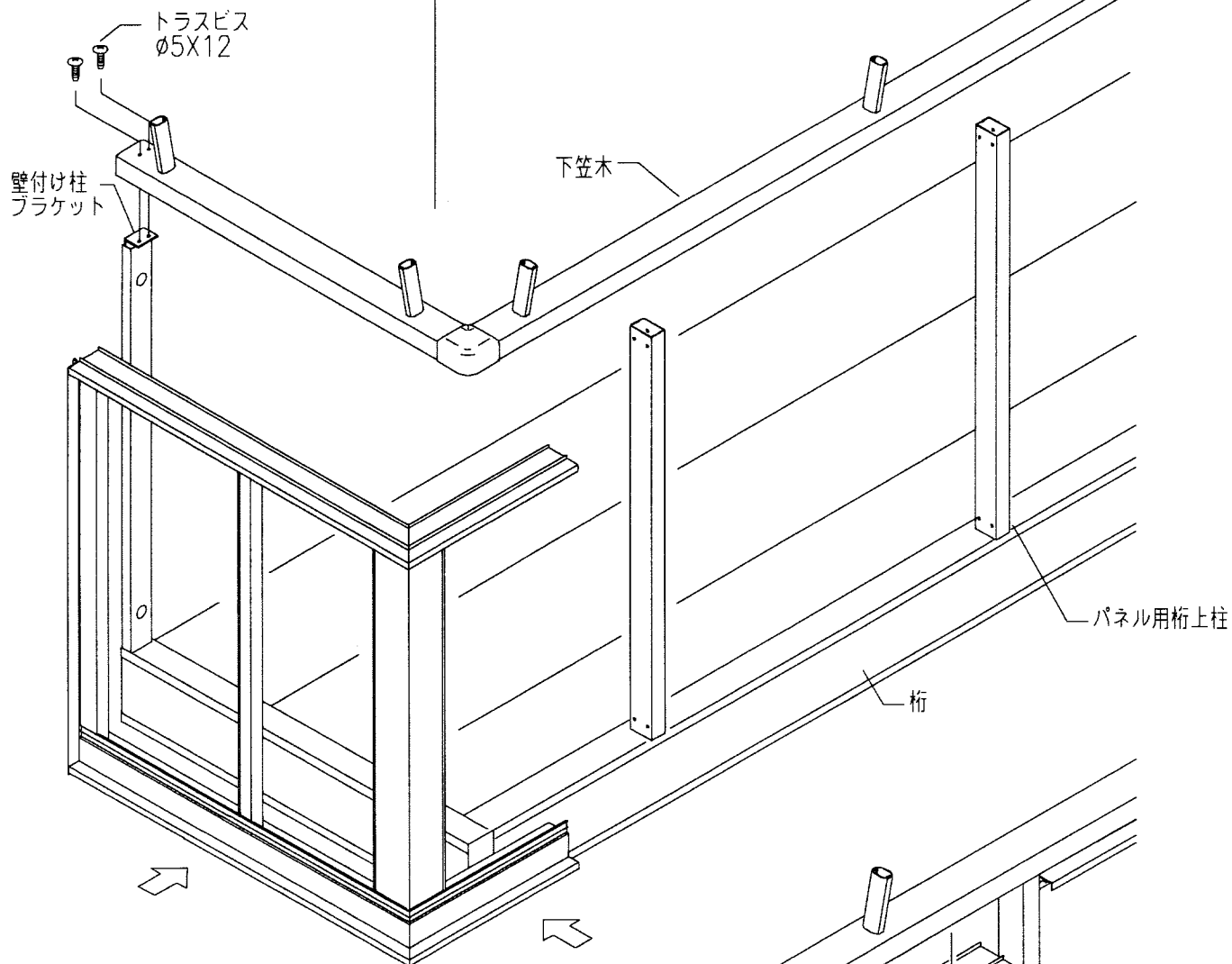
- ① 上枠、下枠のコーナー部を突き合わせて
コーナー柱を取付けてください。



- ② 端部柱、中間柱、見切り材をそれぞれビスで
取付けてください。

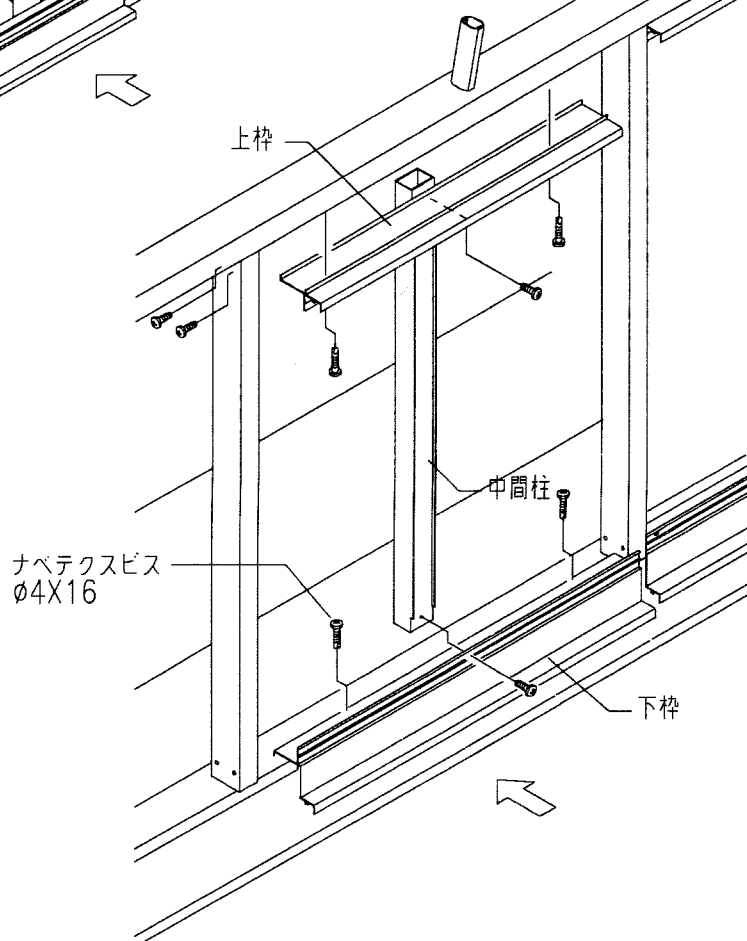
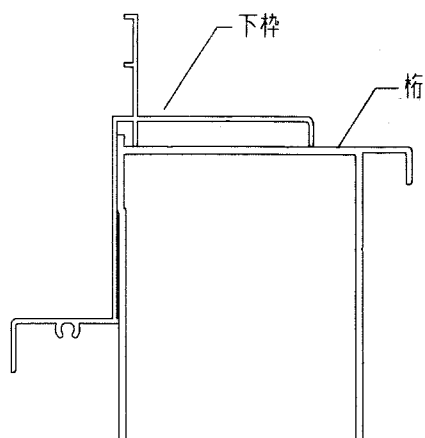
● パネルの取付

- ① 笠木を取付ける前に、コーナーパネル及び壁直付け部のパネルを取り付けてください。



- ② 笠木を取付た後で、前面パネルの上下枠をそれぞれテクスビスで固定してください。

- ③ サイディングパネル上下枠の内々に中間柱を差込みビスで固定してください。



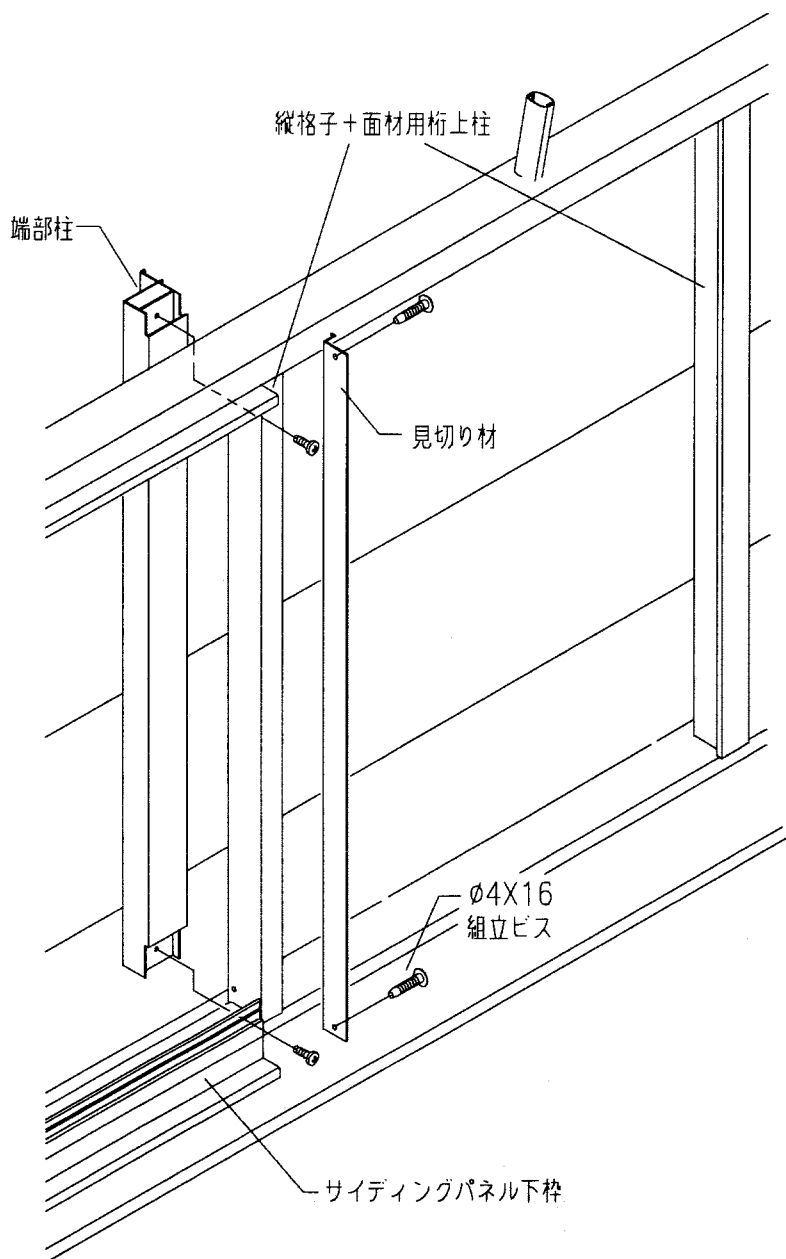
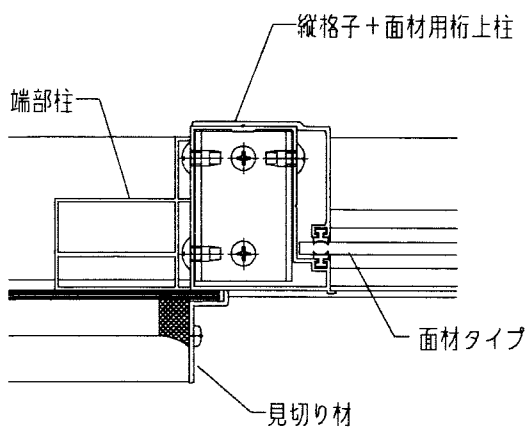
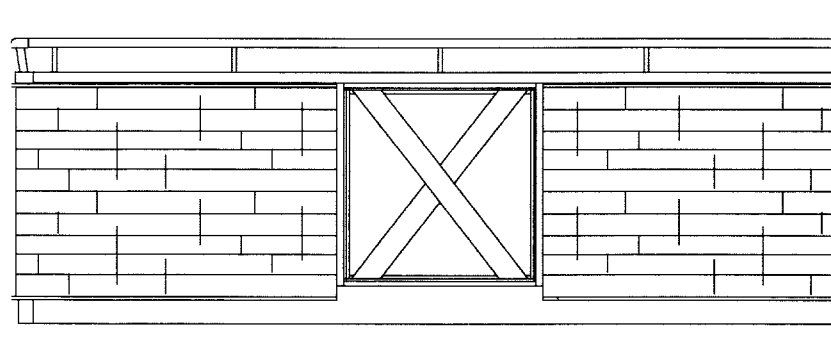
● 他のパネルとの組み合わせ

- ① 面材タイプのパネルと組み合わせる場合には
縦格子+面材用桁上柱を取付けてください。

縦格子と組み合わせる場合には、縦格子用
桁上柱を取付けてください。

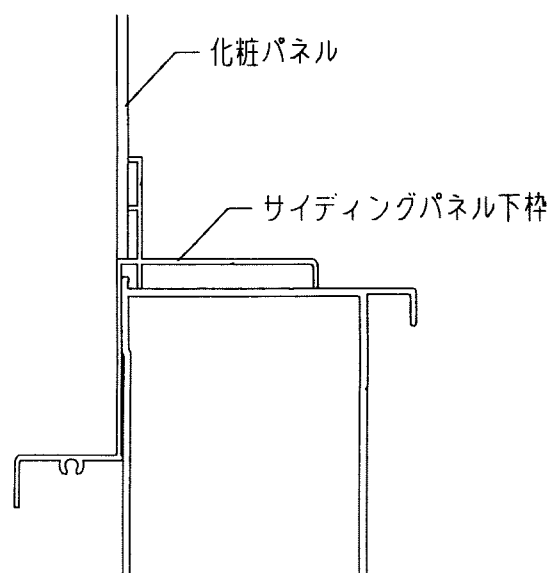
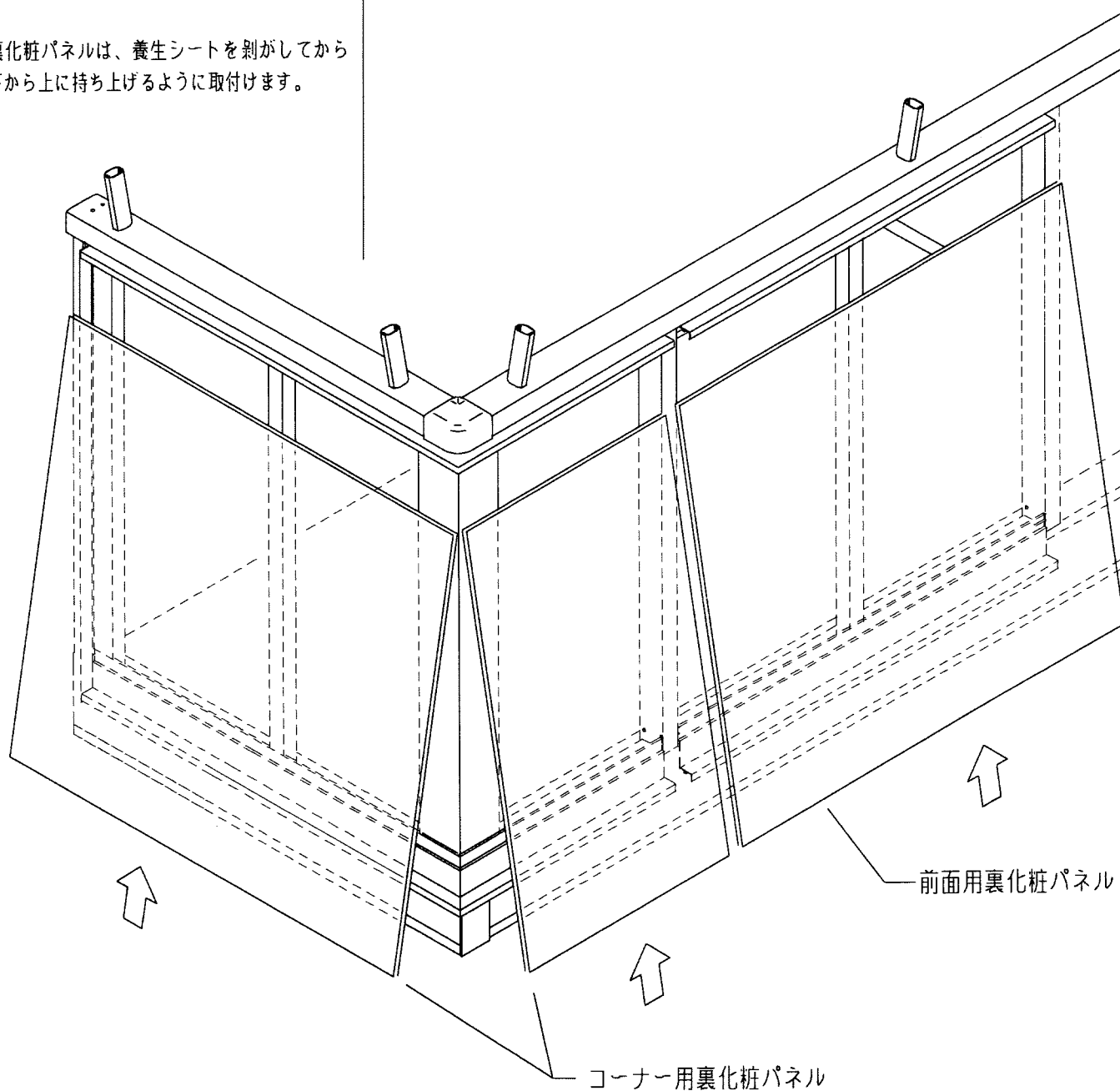
- ② サイディングパネル枠に、端部柱及び
見切り材を取付けてください。

- ③ 面材タイプのパネルを取付けてください。
P29を参照してください。



● 裏化粧パネルの取付

- ① 裏化粧パネルは、養生シートを剥がしてから
下から上に持ち上げるように取付けます。

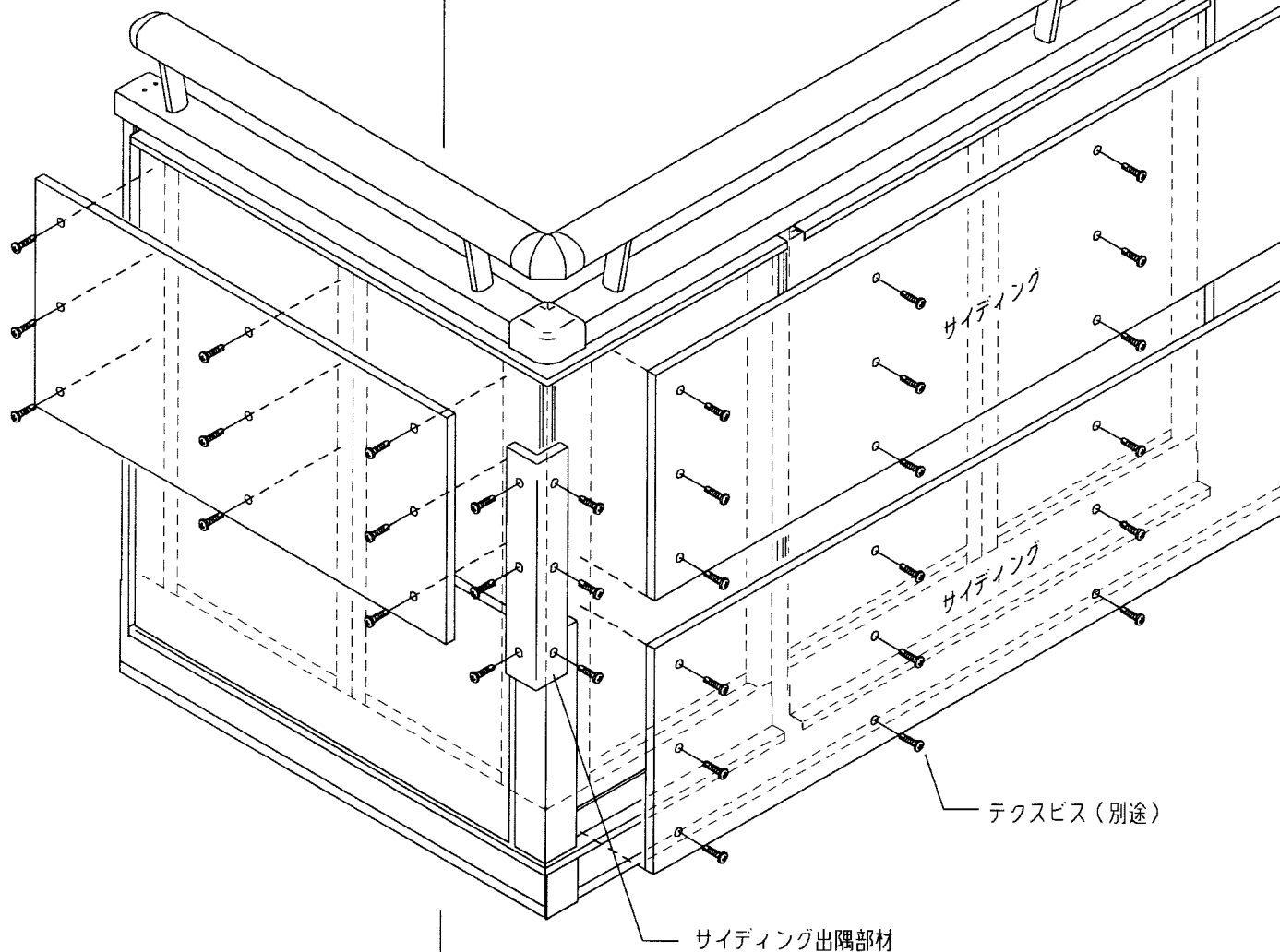


注意

化粧パネルは、左図のように取付けてください

● サイディングパネルの取付

- ① サイディングに、下孔を開けてから、桁上柱・中間柱、端部柱、コーナー柱にそれぞれテクスビスで取付けてください。



注意

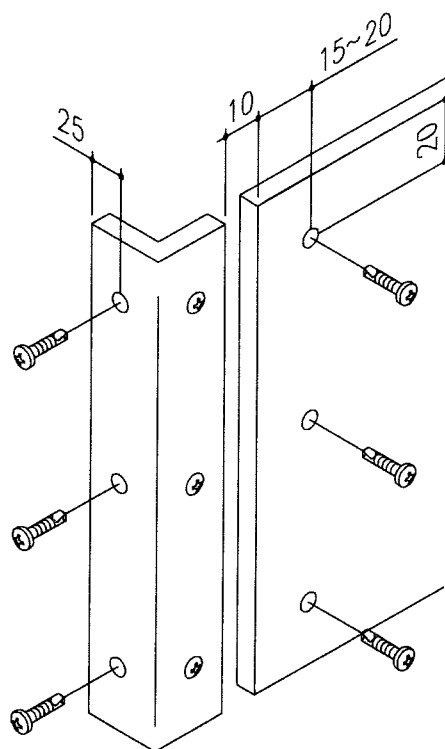
下孔を開けずにサイディングを取付けるとサイディングが割れる恐れがあります。

お願い

ビス打ちの際、右図のようにサイディング端部より15~20mm内側に打ってください。(コーナー部材は、中心に打ってください。)

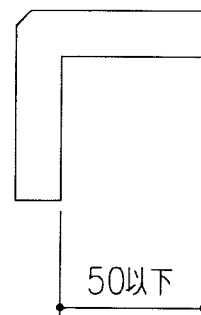
お願い

サイディングの継ぎ目は、10mm開けてシーリング処理してください。



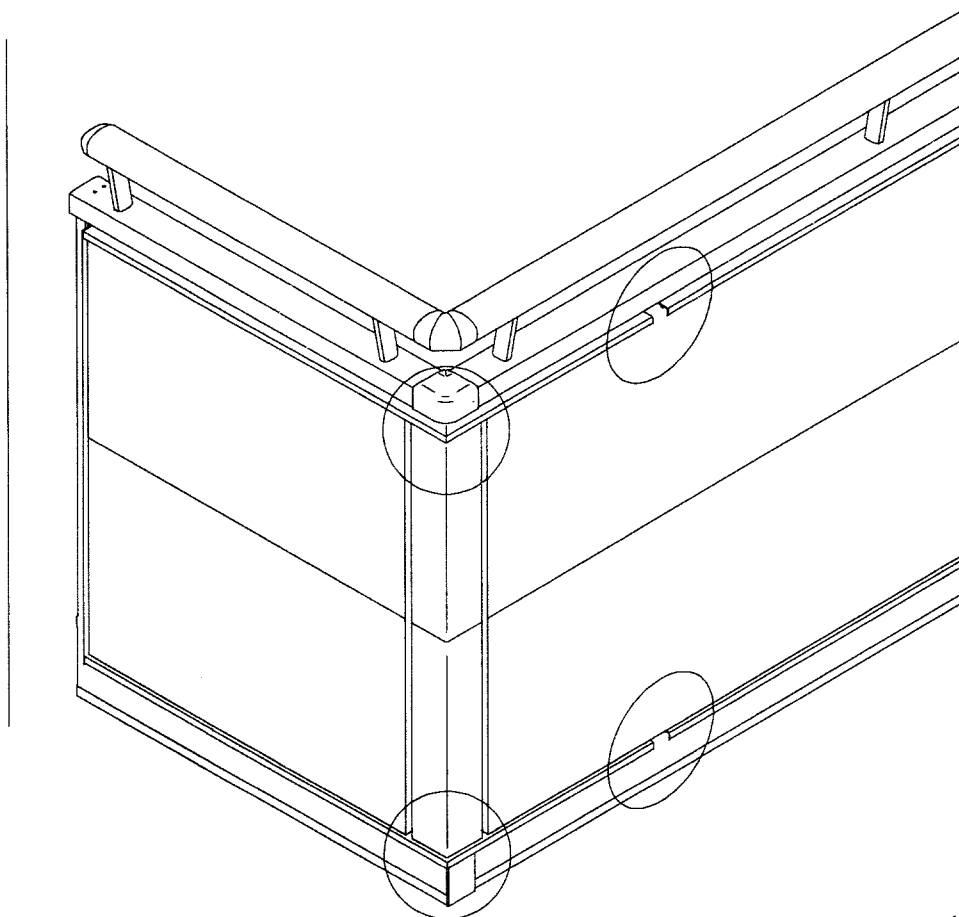
注意

サイディング出隅部材は、取付面が50mm以下の物をご使用ください。(当社、彩壁出隅部材：50mm)

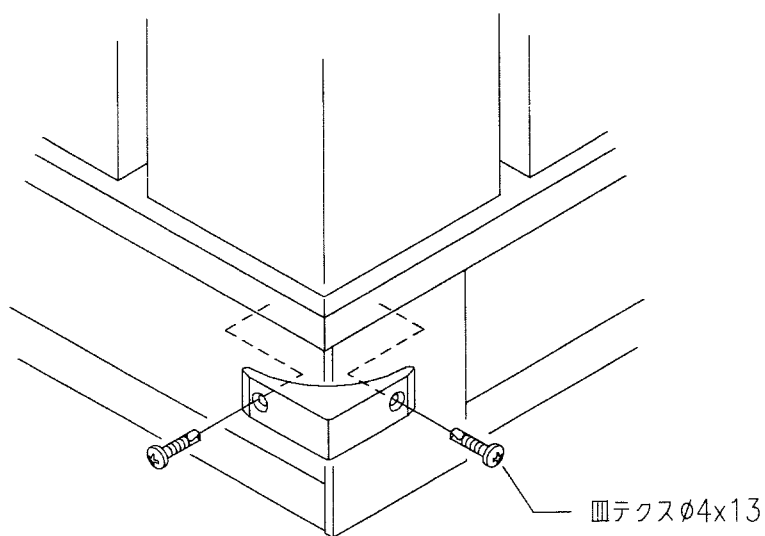


● キャップの取付

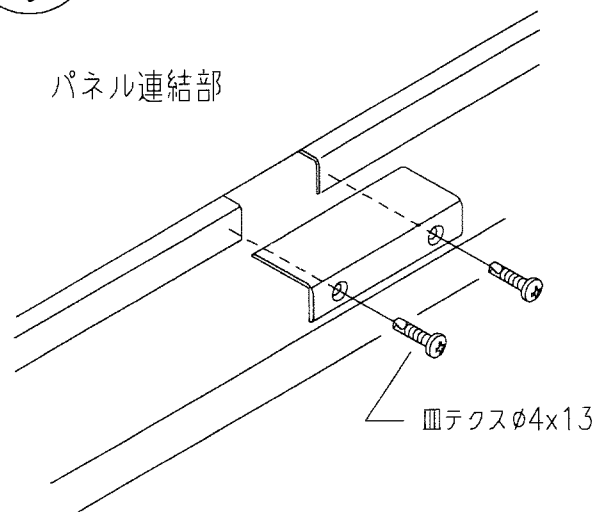
- ① パネル上下枠の、コーナー部及び連結部にキャップを取付けます。



パネルコーナー部



パネル連結部

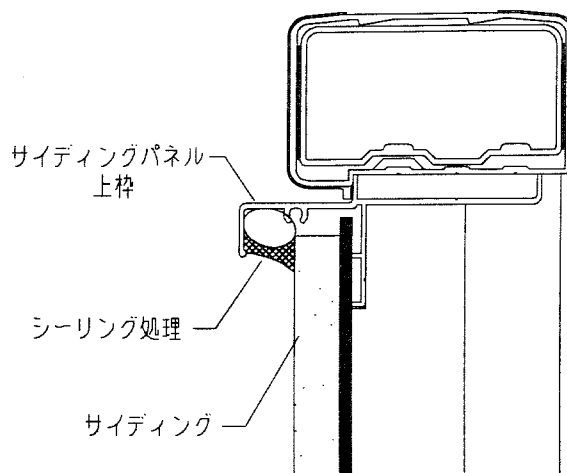


■テクスφ4x13

■テクスφ4x13

● シーリング処理

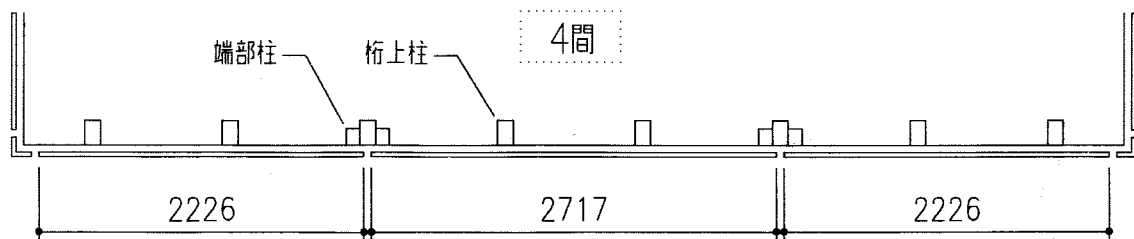
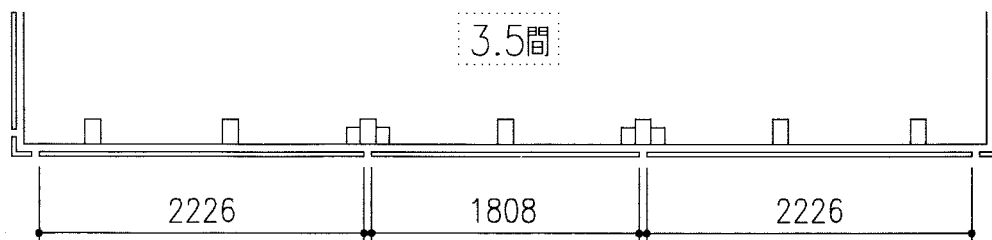
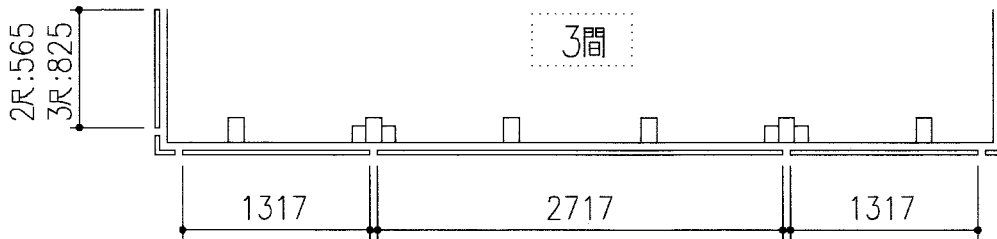
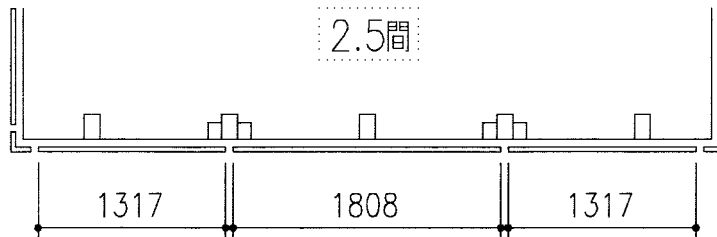
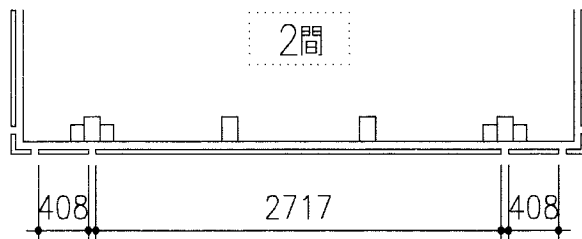
- ① サイディングの継ぎ目、端部及び上枠呑み込み部のシーリング処理を行ってください。
- ② サイディングの下部は、シーリングしないでください



16 サイディングパネルの割付け

2間以上の時のサイディング割付け参考図です。

注意 サイディングコーナー部材を、
使用したときの寸法です。



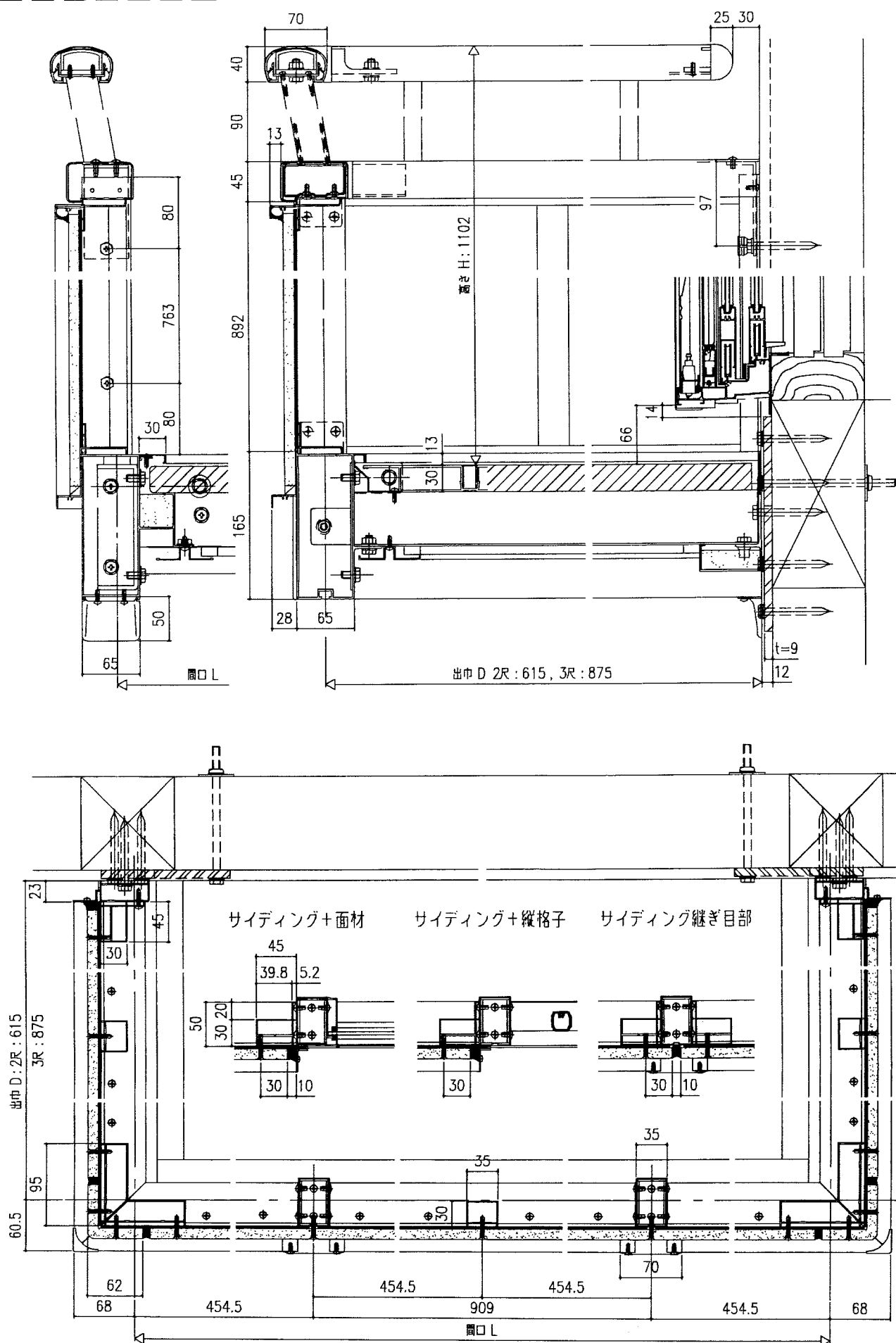
注意

サイディングの継ぎ目は、桁上柱の取付部にしてください。

お願い

サイディングの継ぎ目になる桁上柱の両脇に別売り部材の端部柱を取付けてください。
(継ぎ目一個所につき、1セット)

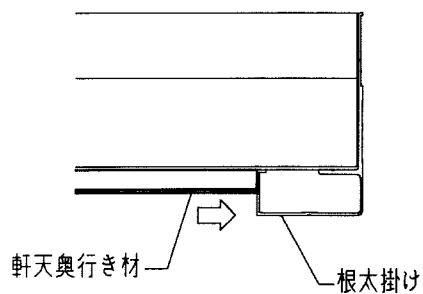
サイディングパネル基本断面



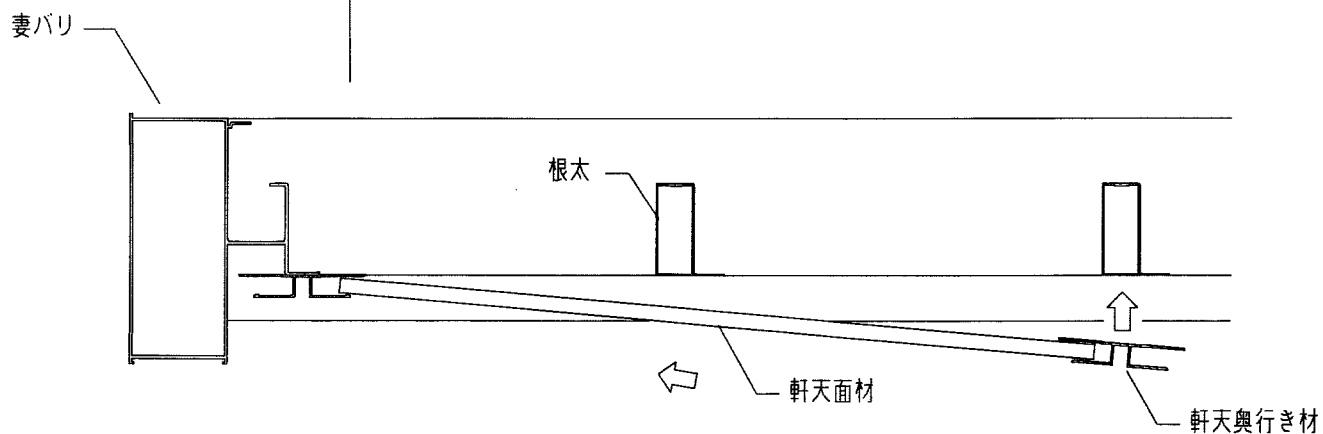
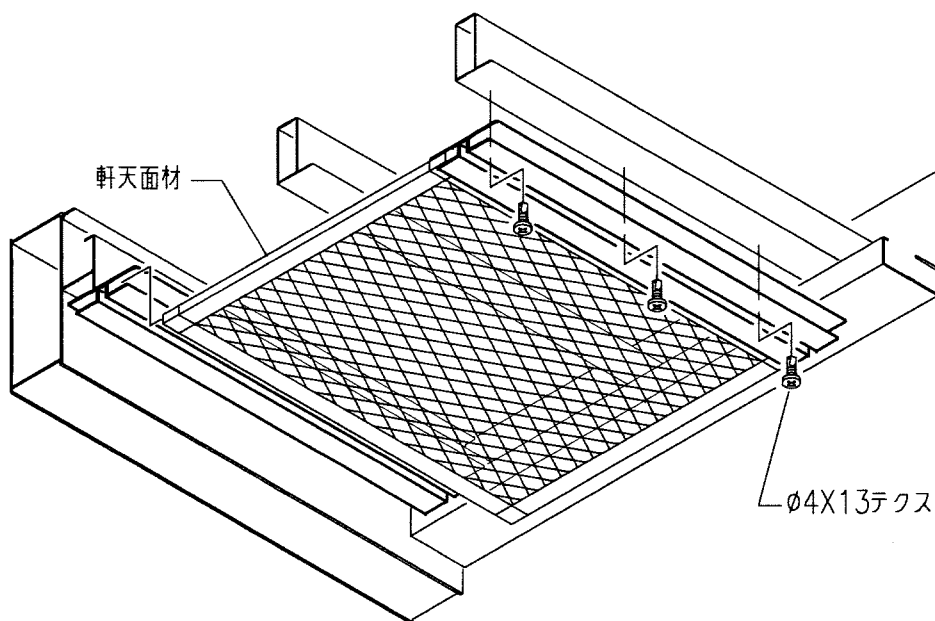
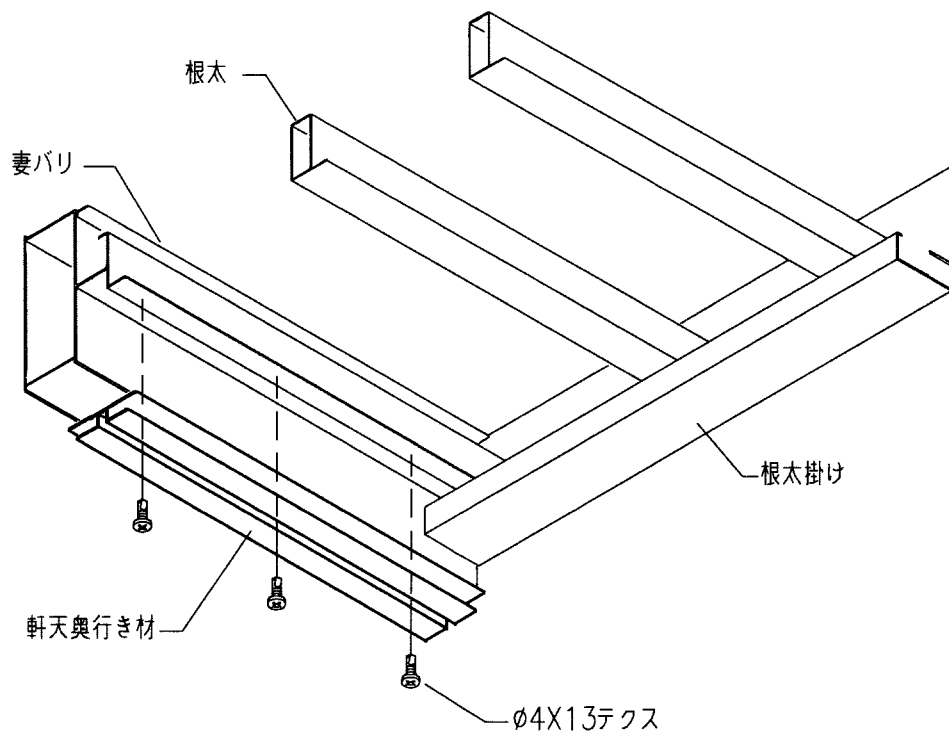
17 軒天面材の取付

- 軒天奥行き材、
軒天面材の取付

- ① 妻バリに、軒天奥行き材の端部が
根太掛けに、あたるようにして
取付けてください。

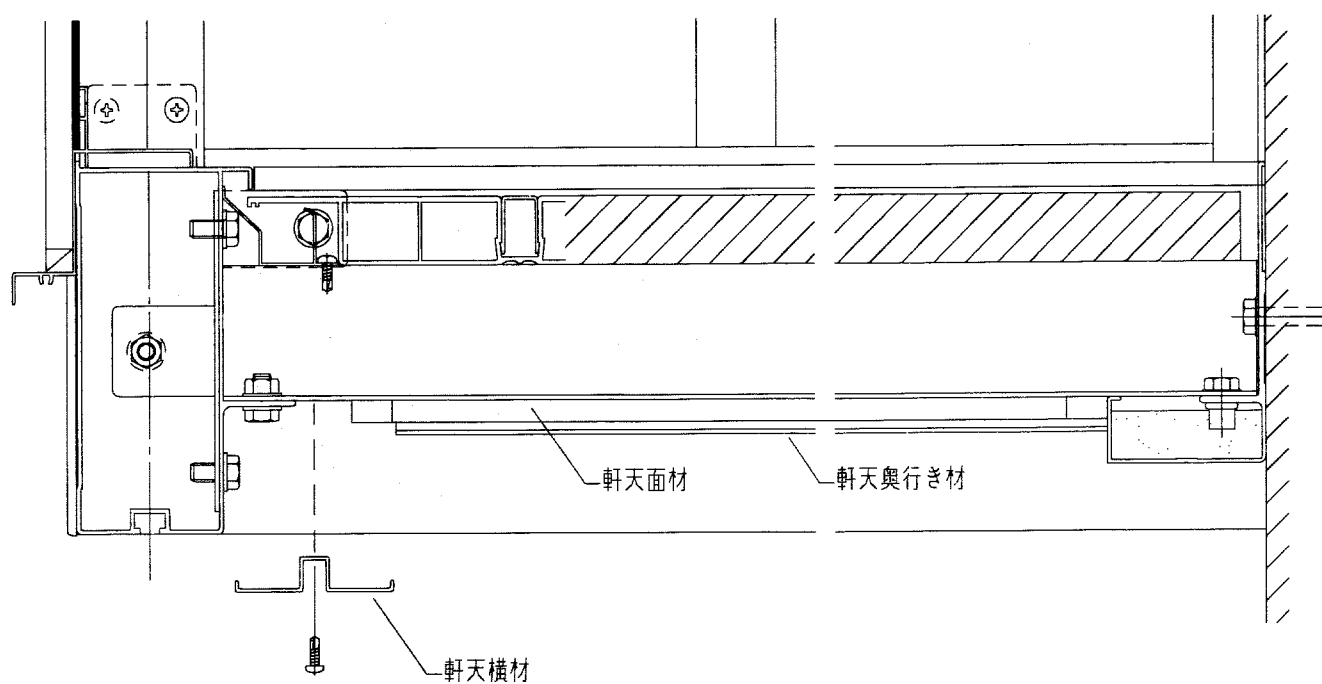
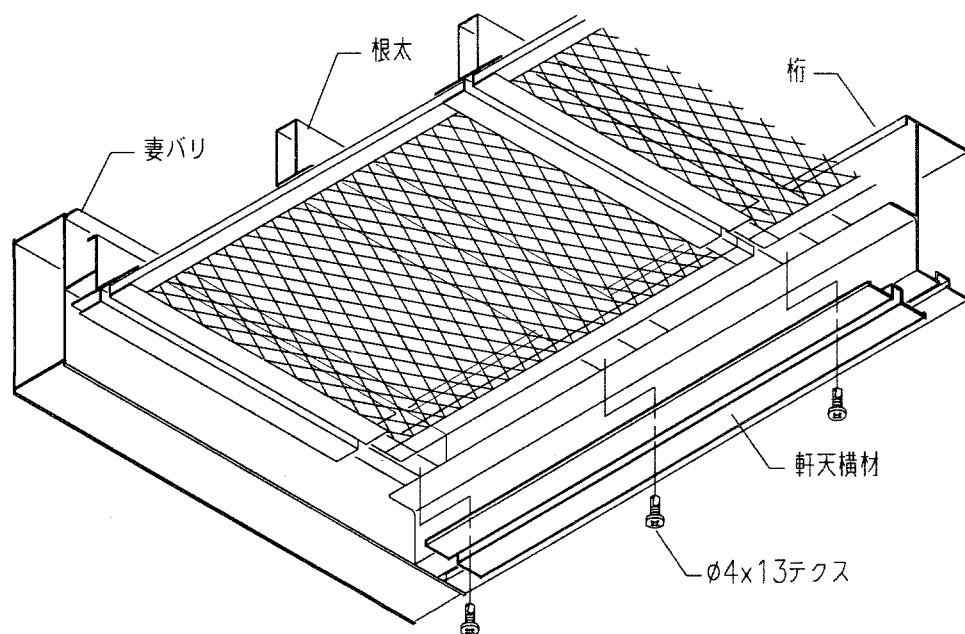


- ② 軒天奥行き材の溝に、軒天面材の
縦柵を差込むようにして、端から
順番に、軒天奥行き材を取付けて
ください。



● 軒天横材の取付

- ① 軒天横材を、 $\phi 4 \times 13$ テクスビスで
妻バリ及び根太に取付けてください。

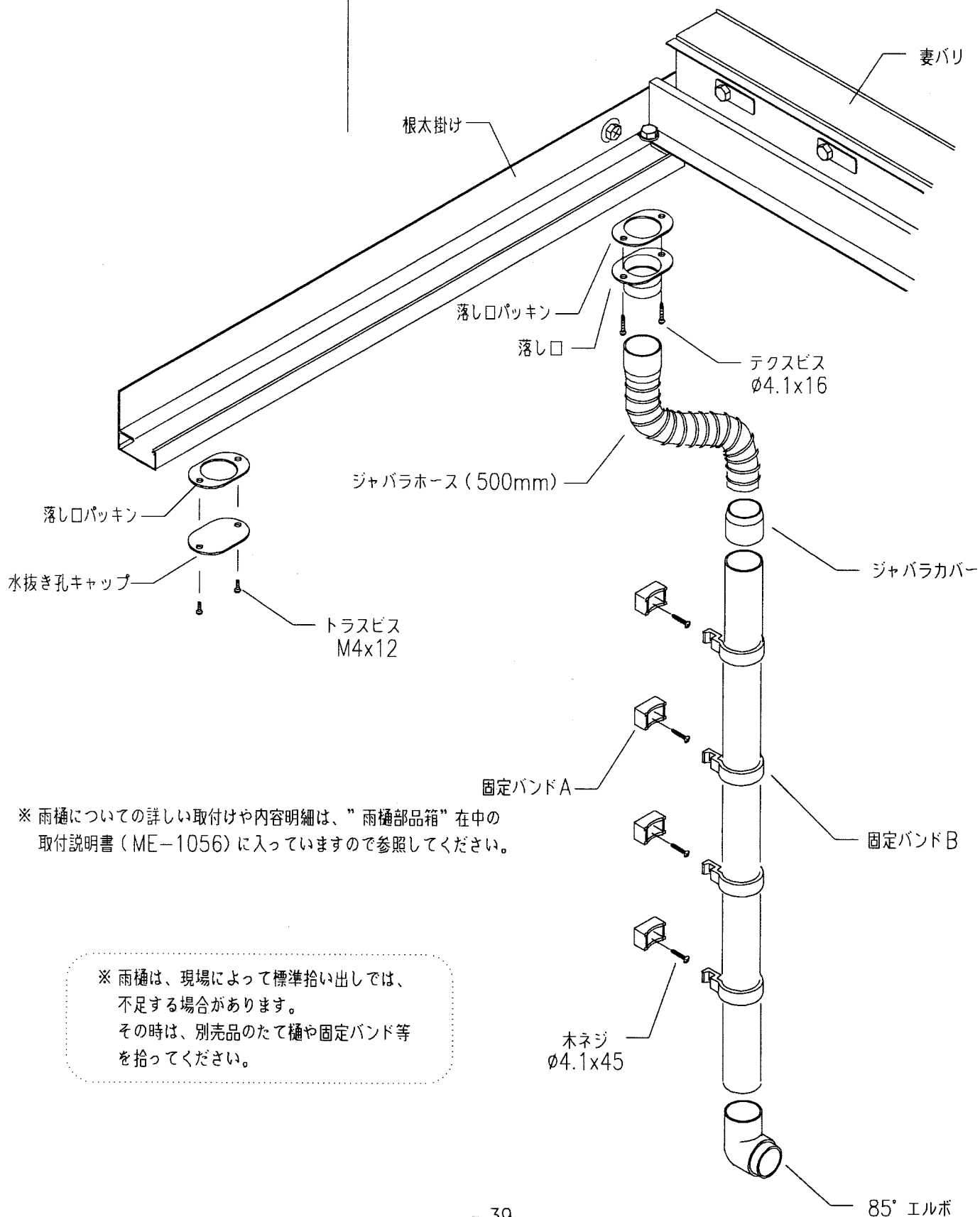
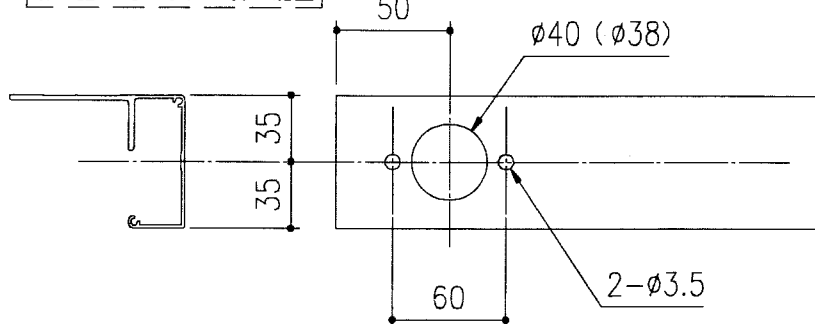


18 雨樋の取付け

① 本商品は、根太掛けの左右に水抜き孔がありますのでどちらか片方に雨樋を取付けてください。

・雨樋を取付けない方は、水抜き孔キャップを取付けてください。

切り詰め時の水抜き孔の加工

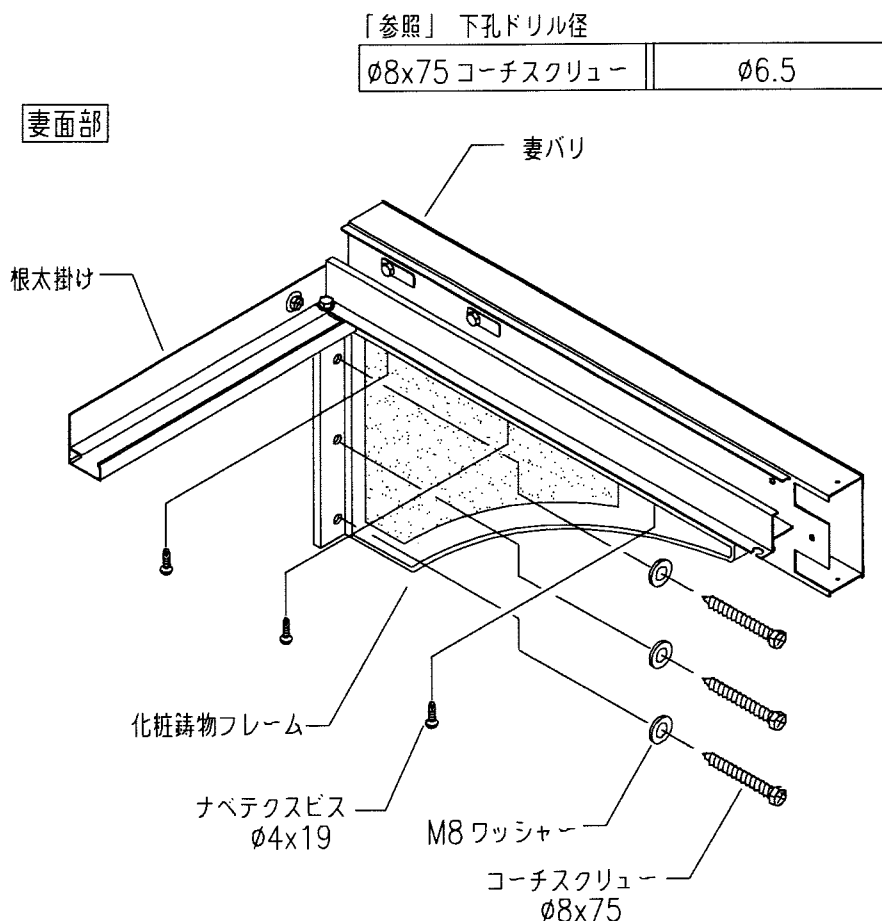


※ 雨樋についての詳しい取付けや内容明細は、“雨樋部品箱” 在中の取付説明書 (ME-1056) に入っていますので参照してください。

※ 雨樋は、現場によって標準拾い出しでは、不足する場合があります。その時は、別売品のたて樋や固定バンド等を拾ってください。

19 化粧鋳物フレームの取付け（別売品）

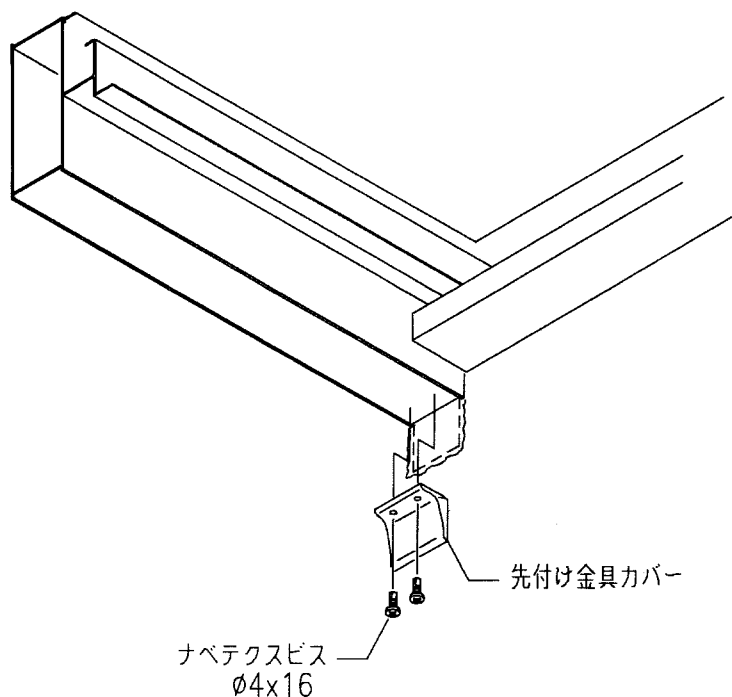
- ① 妻バリと壁面に化粧鋳物フレームを押し当てコーチスクリュー（ $\phi 8 \times 75$ ）で固定します。
 - ・コーチスクリューを取付ける際、躯体側に柱・間柱等があることを確認の上、取付けてください。
 - ・また、雨漏れ防止のため取付孔には十分シーリング材を充填した後、取付けを行なってください。コーチススリューは、確実にねじ込んでください。
- ② 化粧鋳物フレームを妻バリにナベテクスビスで（ $\phi 4 \times 19$ ）で取付けます。
- ③ 化粧鋳物フレームと壁面間にシーリング材を充填します。
 - ・化粧鋳物フレームの周りにも十分シーリング処理を行なってください。



おことわり：上図は、化粧鋳物取付作業をわかりやすく表すためデッキ材・前桁等が取付けられていない状態で現しています。
 実際は、取付作業の最後もしくは、妻バリ取付時となります。

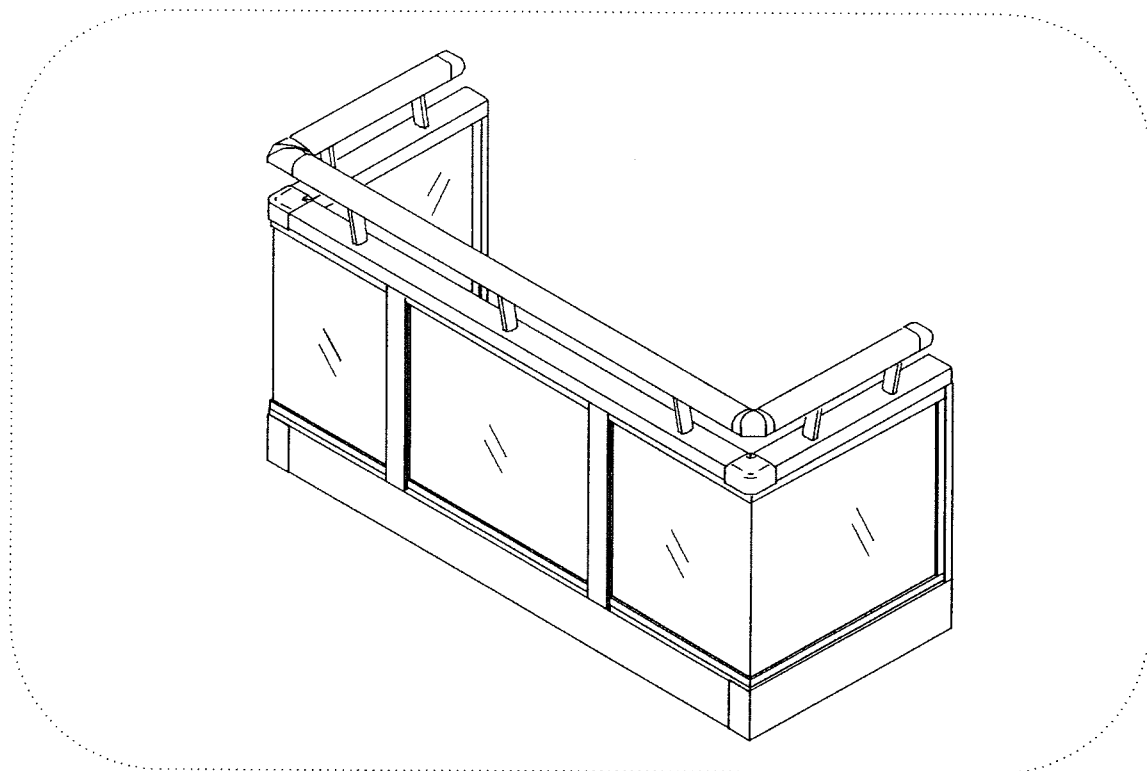
20 先付け金具カバー（別売品）

- ① 妻バリと壁面に先付け金具カバーを押し当て $\phi 4 \times 16$ テクスで固定します。
 - ・壁面と金具カバーとの間に、シーリング材を充填してください。



●お施主様へのお願い

1. アルミ型材の接合部や端部等がその構造上、角張っているため手や足を切ったり、衣類を張っ掛けたりする事がありますので、ご注意ください。
2. 商品に貼付されている注意・取扱説明のラベル等をはがさないでください。
3. 商品に貼付されている注意・取扱説明書をよくお読みいただき、その指示に従ってください。
4. アクリル板及びデッキ材の清掃には、有機溶剤系のガラスクリーナーなどのご使用は避けてください。ヒビ割れを生じる場合があります。
ヒビ割れが生じた場合、そのままにしておくと危険です。当社商品取扱店にご相談の上、修理を依頼してください。
5. 床に洗濯機等の重量物を載せないでください。バルコニーが変形したり建物を傷めます。
6. 床面の積雪が20cmを超える前に必ず雪おろしを行ってください。
7. バルコニーにロープをかけて荷物などを上げ下げしないでください。
8. バルコニーに電線を巻き付けしないでください。電灯線などを巻き付けますと感電することがあります。
9. 踏み台になるような物の上に乗ると落下の危険が生じます。特にお子様には注意してください。



メンテナンス

●アルミ建材製品お手入れのお願い

アルミニウムはサビにくい性質を持っており、その上にJIS規格を十分にクリアした表面処理をしていますが、煤煙や砂、泥が付着したまま放置しておきますと化学的、電気化学反応等でアルミ表面を侵し点蝕等の腐食を発生させる原因となります。アルミ住宅建材製品をいつまでも美しくお使いいただくために、定期的なお手入れをお施主さまにおすすめてください。

■汚れの程度と清掃方法

汚れの程度	表面の種類	用具及び洗剤	清掃方法	備考
軽い場合	アルマイト	中性洗剤(注1)	洗剤をつけた布などで、表面の汚れを除去し、水洗後乾いた布で乾拭きする。	
		クリーナー(注2)	クリーナーをつけた布などで表面の汚れを除去する。	使用説明書に従う。
	塗膜		水をつけた布などで表面の汚れを除去する。	溶剤型洗剤及びクリーナーは塗膜を溶かすので使用できない
		中性洗剤(注1)	洗剤をつけた布などで表面の汚れを除去し、水洗後乾拭きする。	
ひどい場合	アルマイト	スコッチブライト(注3) クリーナー(注2) 中性洗剤(注1)	クリーナー又は中性洗剤を含ませたスコッチブライトで、押し出し又は圧延の筋目方向に表面を軽くこすって汚れを除去した後、水洗いし、乾拭きする。	一定方向にこする。コーナー部を過度にこすらないよう注意する。虹模様のときも同様にする。
	塗膜	塗装用洗剤(注4)	塗装用洗剤で表面の汚れを除去する。	溶剤型洗剤は塗膜を溶かすので使用できない。
汚れが著しく腐蝕(点食)を含む場合	アルマイト	スコッチブライト(注3)	スコッチブライトで表面をこすり、汚れ、腐蝕生成物を除去した後乾拭きする。防蝕の立場からはアルマイトに適した塗料を塗布することが望ましい。	一定方向にこする。コーナー部を過度にこすらないよう注意する。
	塗膜	スコッチブライト(注3) サンドペーパー#600 中性洗剤(注1)	洗剤をつけたスコッチブライト又はサンドペーパーで表面を軽くこすり、汚れや腐蝕生成物を除去し、水洗後その表面に適した塗料で補修する。	

(注1) 例えばマレモン(ライオン油脂)、ファミリー、チェリーナ(花王石鹼)の1～2%水溶液。

(注2) 例えばイージーシャイン(日本シービーケミカル)。

(注3) スコッチブライト(住友スリーエム)の粒度はウルトラファイン。

(注4) 塗装用洗剤は塗料の種類によりそれに適したものを使用してください。

ご注意

家具・床などに使用する溶剤系のクリーニング剤や、便器・タイル洗浄剤などの酸性、アルカリ性の洗剤は、表面の皮膜をおかしますので、使用しないようにしてください。みがき粉、たわし等の固いものでこすらないでください。

■地域別お手入れ回数

地 域	回 数
臨海工業地帯	年に2～3回
工業・商業・温泉地帯	年に2回
海岸・街道地帯	年に1～2回
田園・山間地帯	年に1回

プラスチック製(PVC)製品取扱い上の注意点

- 火気及び高温物・高熱源の器具等を接触したり、近づけないように十分注意してください。
- 通常の使用には十分耐えられる構造になっていますが、部分的に衝撃を与えますと、破損する恐れがありますので乱暴な取扱いは避けるようにしてください。

ご注意

- 溶剤型洗剤及びクリーナーは塗膜を溶かす恐れがありますので、使用しないでください。